

11 シンボル編集

本書は運用をできるだけわかりやすく解説したものです。詳細な情報につきましては Help Manual を参照して下さい。

本書の記載した内容は、予告なしに変更する事があります。

本書の一部または全部を無断で転載及び複写することを禁止します。

2024/11/28	V10.00.00	初版として作成
作成日	対応バージョン	修正内容

目次

11. シンボル編集	2
11-0. 概要	2
11-1. 逆止弁の形状変更(既存シンボルの修正).....	4
11-2. 45° 計装タンク弁の作成(シンボルをコピーして修正).....	16
11-3. ポンプの作成(新規シンボルの作成).....	37
11-4. 他 Lu のシンボルのインポート	44

11. シンボル編集

11-0. 概要

• はじめに

本チュートリアルでは以下の P&ID シンボルの作成とシンボルのインポート方法について説明します。3D で使用するシンボルは扱いません。

- 11-1. 逆止弁の形状変更(既存シンボルの修正)
- 11-2. 45 計装タンク弁の作成(シンボルをコピーして修正)
- 11-3. ポンプの作成(新規シンボルの作成)
- 11-4. 他 Lu のシンボルのインポート

チュートリアルの zip 内に以下のLuが含まれます

- j01 シンボル編集用Lu … ①
- j01 シンボル編集用Lu 完成版 … ②

①のLuをセットアップドライブ:¥EYECAD フォルダ以下にコピーしてください。EYECADフォルダ以下にフォルダ名が j01 で始まるものがある場合は名前を変更するか別のフォルダに移動してください。

②は本チュートリアルを完了すると作成されるLuデータで参考に収録しています。チュートリアルでは使用しません。

Lu の起動方法については説明は省略します。ヘルプマニュアル EYEPIDVer.10 の 17 P&ID 入出力 17-02 基本操作をご覧ください。

標準 DB には P&ID で使用するシンボルが網羅されています。標準 DB のシンボルが会社もしくはプロジェクト標準のシンボルと異なる場合はジョブ DB のシンボルでシンボルの形状を変更して使用してください。標準シンボルに該当するシンボルがない場合は新規に作成することも可能です。

以下で P&ID シンボルについて説明し、そのあとから実際のチュートリアルとなります。

• P&ID シンボル

	種類	登録数/可能数	説明
1	機器/機器付属品	204/300	機器本体とその機器つく付属品シンボル
2	一般弁/配管付属品/機能シンボル/配管付属品アクセサリ	195/198	配管ラインに挿入、接続する配管部品シンボル
3	計装品/計装品アクセサリ	154/298	配管/計装ラインに挿入、接続するシンボル
4	特殊機器シンボル	34/92	ジョブ固有の機器

- 1) 標準DBにはP&IDで一般的に使用するシンボルが登録されています。会社やプロジェクトで使用するシンボルが標準シンボルと異なる場合ジョブDBで修正してご使用ください。
- 2) ジョブDBはLuを新規作成やJobverupすると自動的に標準DBのコピーが作成されます。シンボルの追加/変更はジョブDBで行います。
- 3) ジョブDBで変更や作成したシンボルはそのLuでのみ使用可能です。他のLuでそれらのシンボルを使用するにはシンボルをインポートする必要があります。シンボルのインポート方法もこのチュートリアルで説明します。
- 4) 「機器シンボル」は単独で配置できるシンボルで「機器付属品シンボル」は親となる機器に追加されるシンボルで単独で配置できないシンボルです。「機能シンボル」は既存のシンボルの形状の変更はできますが新規に作成追

加することはできません。

- 5) 「配管付属品アクセサリシンボル」と「計装品アクセサリシンボル」はそれぞれ「配管付属品シンボル」と「計装品シンボル」に追加されるシンボルで単独で配置できないシンボルです。
- 6) 「特殊機器シンボル」は機能的には「機器シンボル」と全く同じ扱いとなります。「機器シンボル」は会社共通で使うもの、「特殊機器シンボル」はジョブで一時的に使用するものとして使い分けるのが一般的です。

• シンボルファイル

	種類	ファイル
1	シンボル管理ファイル	AG(J)PSPR
2	機器/機器付属品	BG(J)FEQP
3	一般弁/配管付属品	BG(J)FPAC
4	計装品	BG(J)FINS
5	特殊機器シンボル	JFEQSP

- 1) 各シンボルに対応するファイルとそれらを管理するファイルが標準DBとジョブDBにあります。BGファイル(AGPSPR.xml, BGFEQP, BGFPAC, BGFINS)はEYECADの標準DBファイルです。新しいVer.をインストールすると書き換わります。BJファイル(AJPSPR.xml BJFEQP, BJFPAC, BJFINS, JFEQSP)がLu内に保存されるジョブDBファイルです。
- 2) 他Luのシンボルを使いたい場合必ず後述するシンボルのインポートを行ってください。ファイルを直接コピーするとシンボルが壊れる場合があります。

• 反転シンボル(一般弁/配管付属品/計装品)

鏡反転したとき左右非対称(シンボルの形状がY軸に対称でない)の場合、同時に反転シンボルを作成する必要があります。配管に挿入される配管部品(一般弁/配管付属品/計装品)で曲がりのあるシンボルも同時に反転シンボルを作成する必要があります。

例えば、逆止弁(2153)の反転シンボルが逆止弁(2103)となり、逆止弁(2103)の反転シンボルが逆止弁(2153)となります。



鏡反転コピーの貼り付けや流れ方向が決まっている部品は流れ方向を変更したときにシンボルは反転シンボルに変わります。

機器/機器付属品シンボルは反転シンボルはありません。鏡反転貼り付けのときパラメータが全て-1 がかけられます。パラメータの定義が±が逆転したときに鏡反転する形状の定義となっています。

シンボルの説明は以上となります。次ページより実際のチュートリアルが始まります。

11-1. 逆止弁の形状変更(既存シンボルの修正)

作業 Lu に **j01 シンボル編集用Lu** を使用します。この Lu はチュートリアル の zip に収録されています。セットアップドライブ:¥EYECAD フォルダ以下にコピーしてください。EYECADフォルダ以下にフォルダ名が j01 で始まるものがある場合は名前を変更するか別のフォルダに移動してください。

作業概要

逆止弁(2103)に流れ矢印を追加して保存

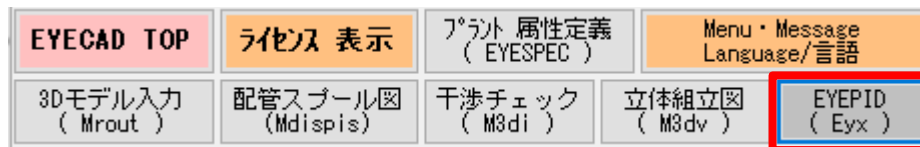


反転シンボルの逆止弁(2153)にも逆向きの流れ矢印を追加して保存

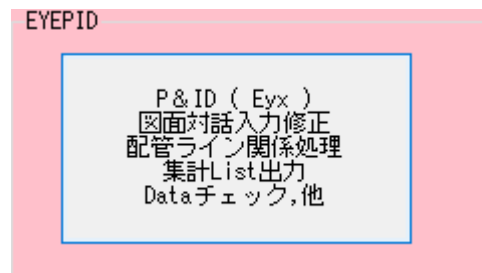


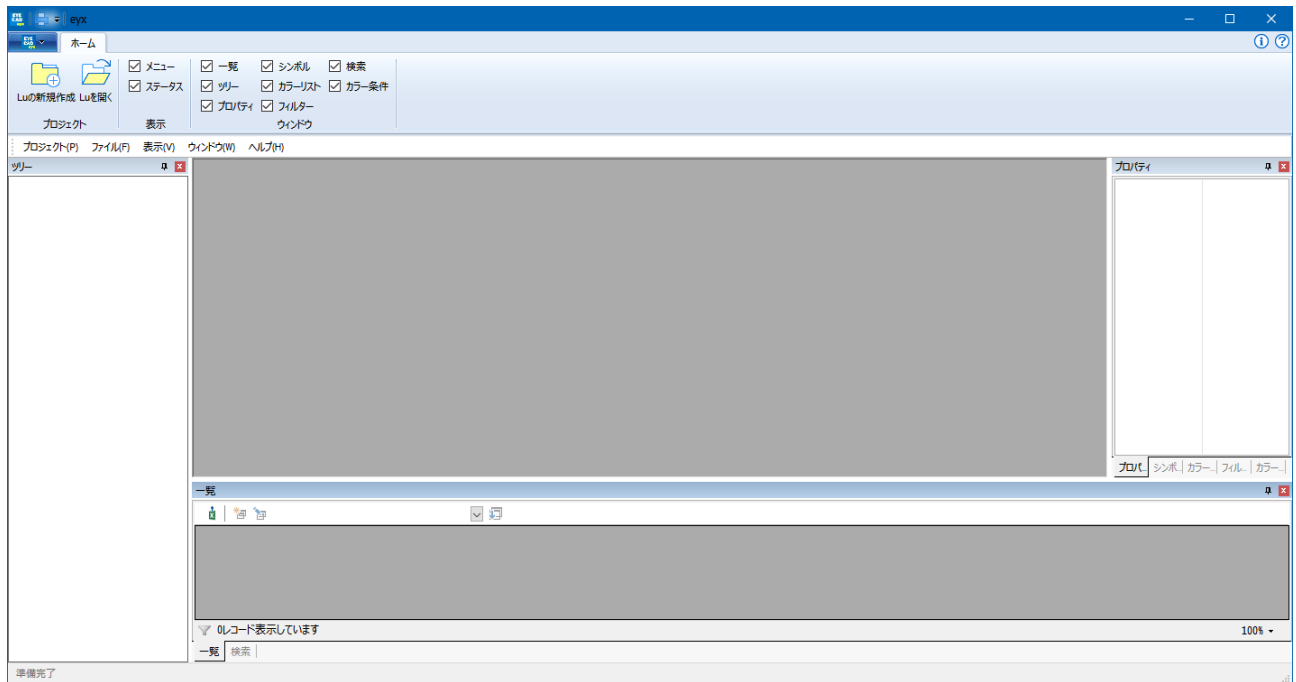
操作手順

ランチャの **EYEPID (Eyx)**

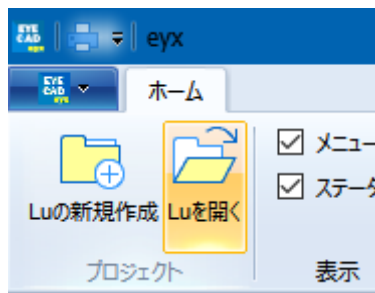


またはEYE TOPの **P&ID (Eyx)** より起動します。





Luを開くをクリックします。

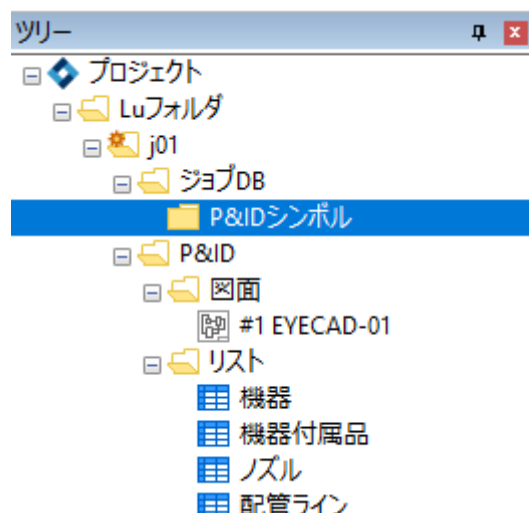
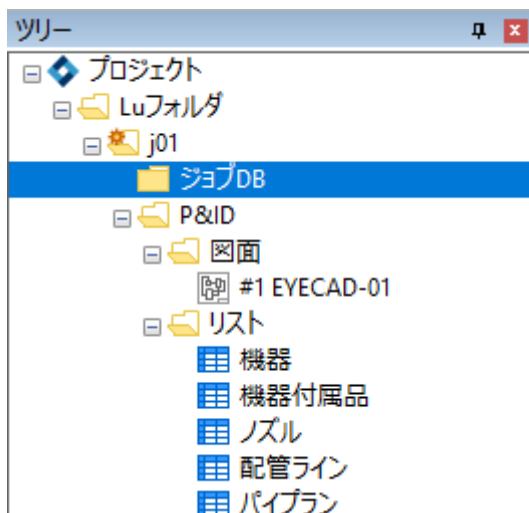


Lu選択画面が表示されますので「詳細>>」をクリックします。

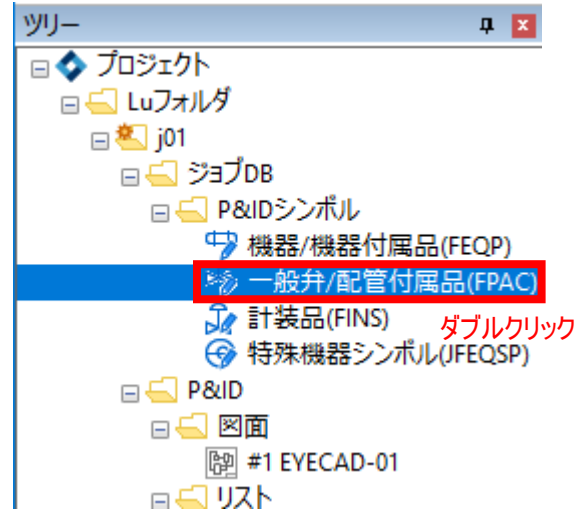
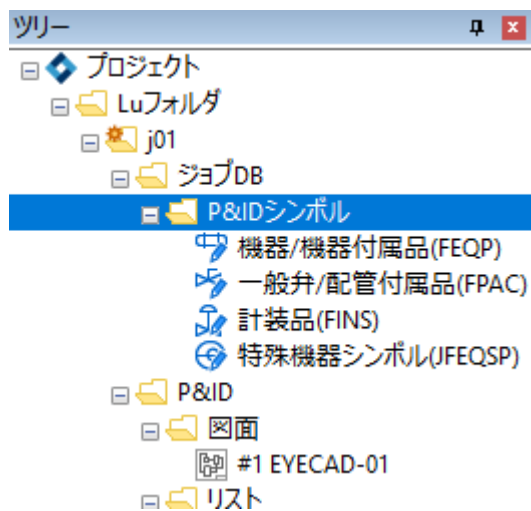
Lu#指定					
Lu#	1	検索		検索	Lu一覧CSV出力 EYECAD 運用Job一覧
Lu#	JobFolder	プロジェクトNo.	プラント名称1	プラント名称2	プロジェクト名
1	j01		EYECADトレーニング		SAMPLE

j01の行をダブルクリックしてください。

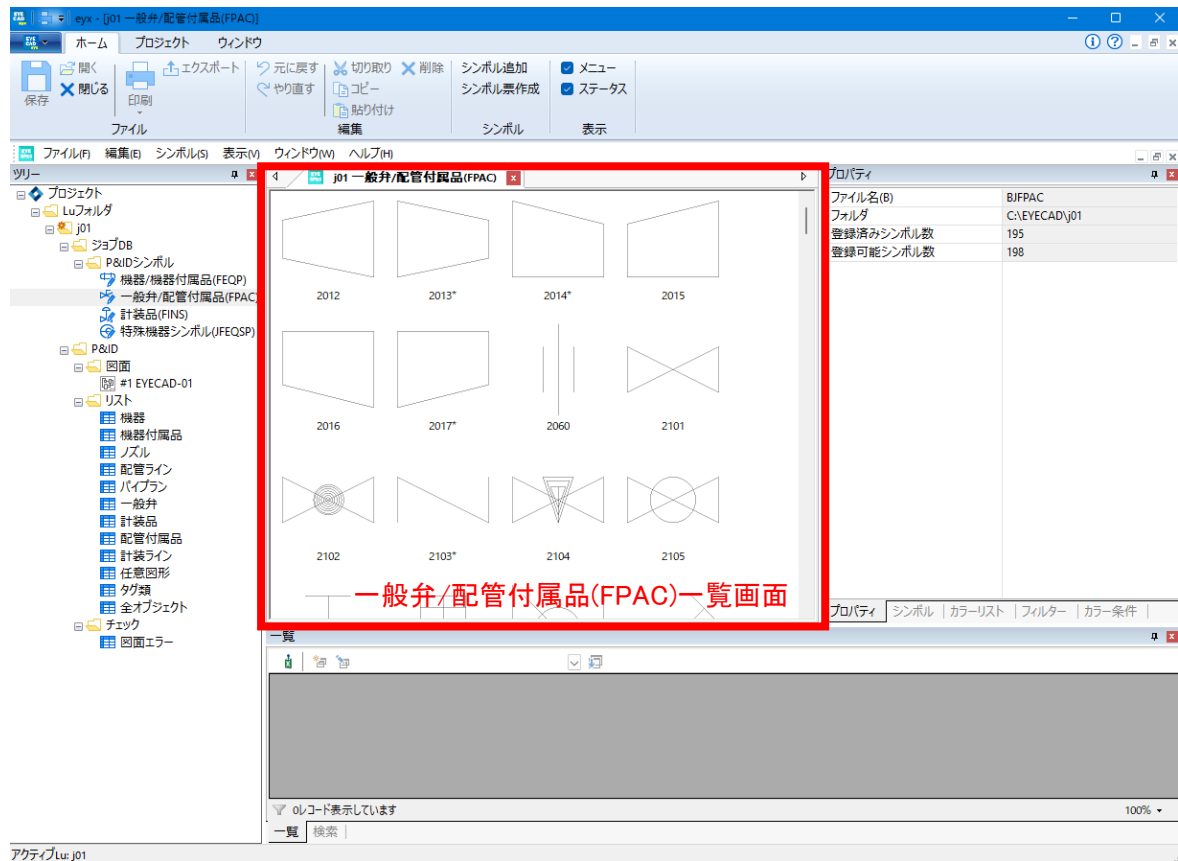
ツリーの「ジョブDB」をダブルクリックするとツリーが展開し「P&IDシンボル」が現れます。



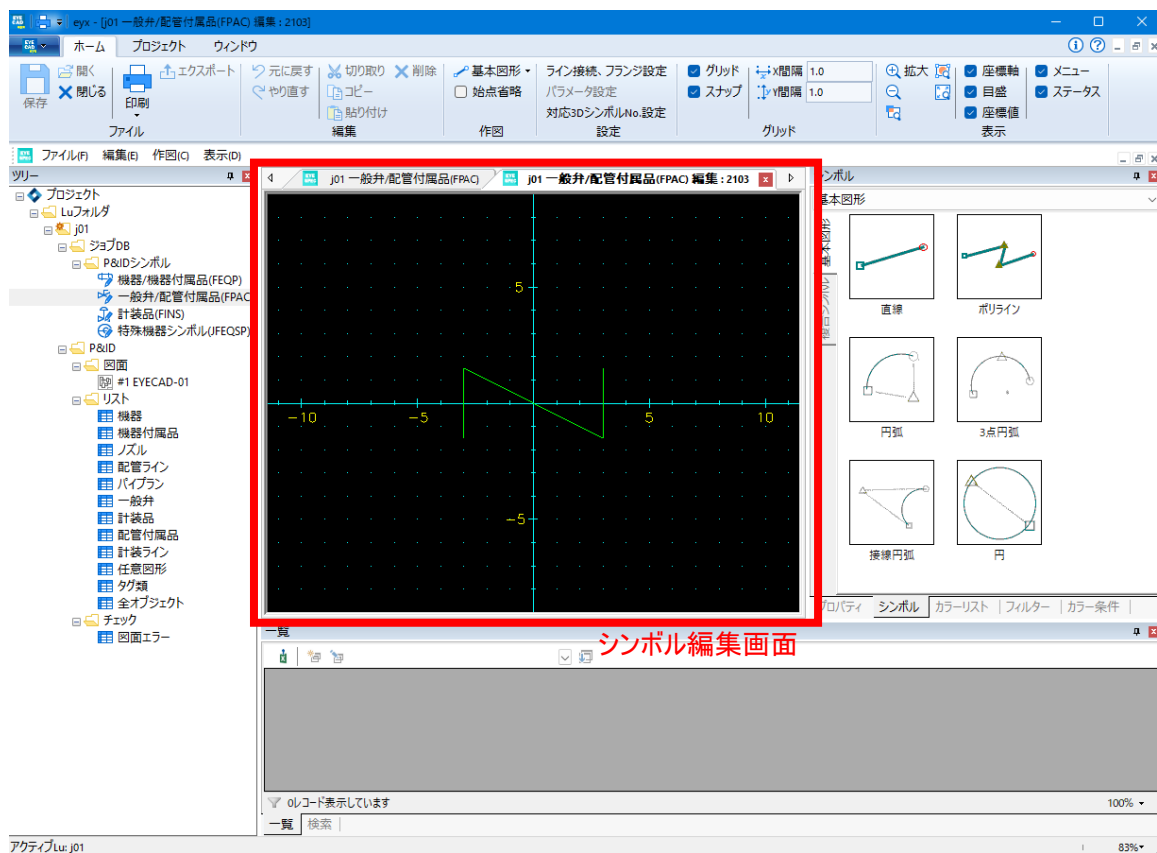
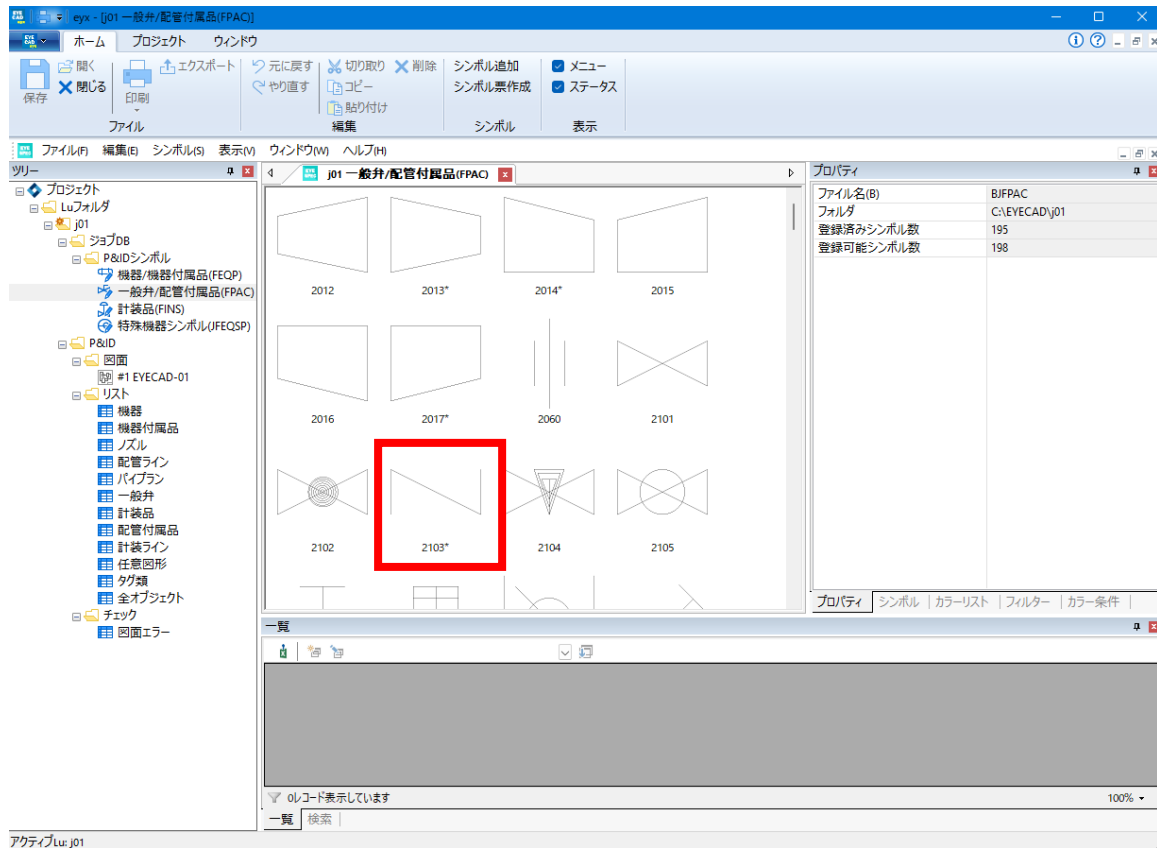
さらに「P&IDシンボル」をダブルクリックすると以下の画面となります。



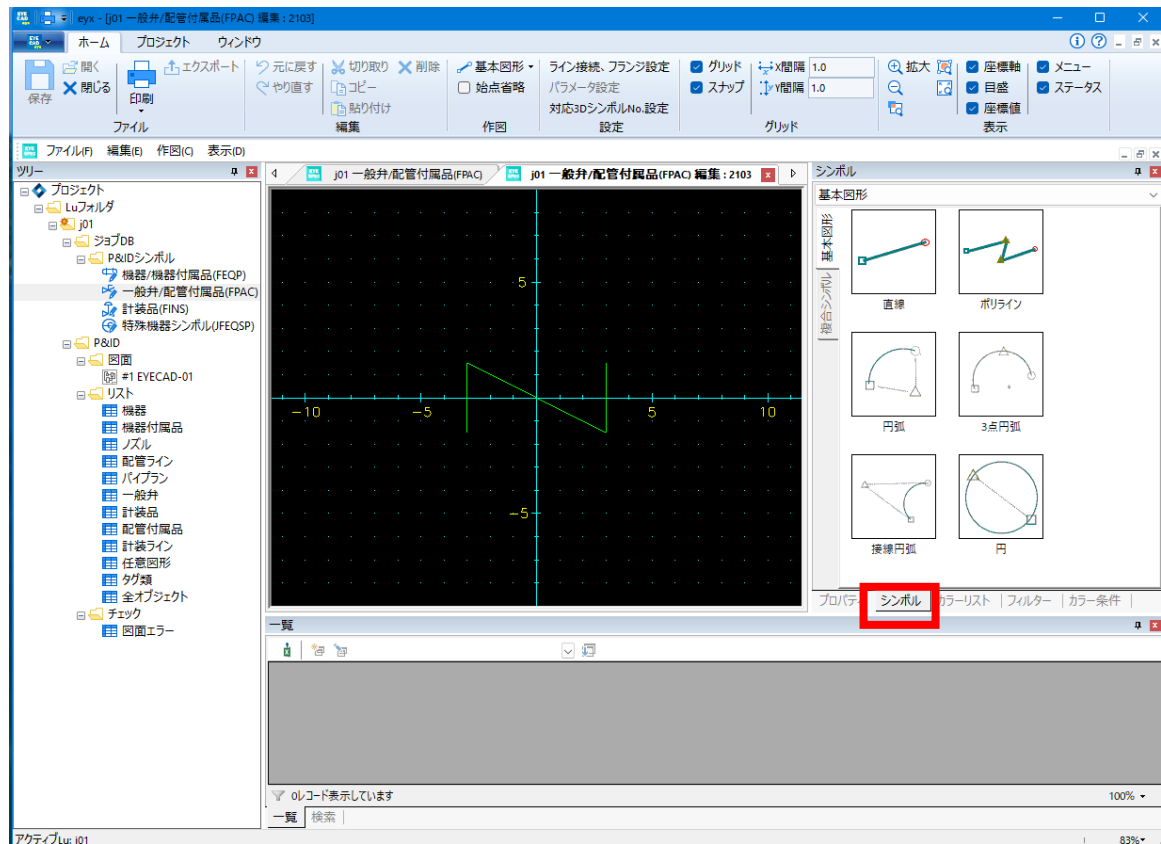
上記のツリーの一般弁/配管付属品(FPAC)をダブルクリックすると一般弁/配管付属品(FPAC)一覧画面が現れます。




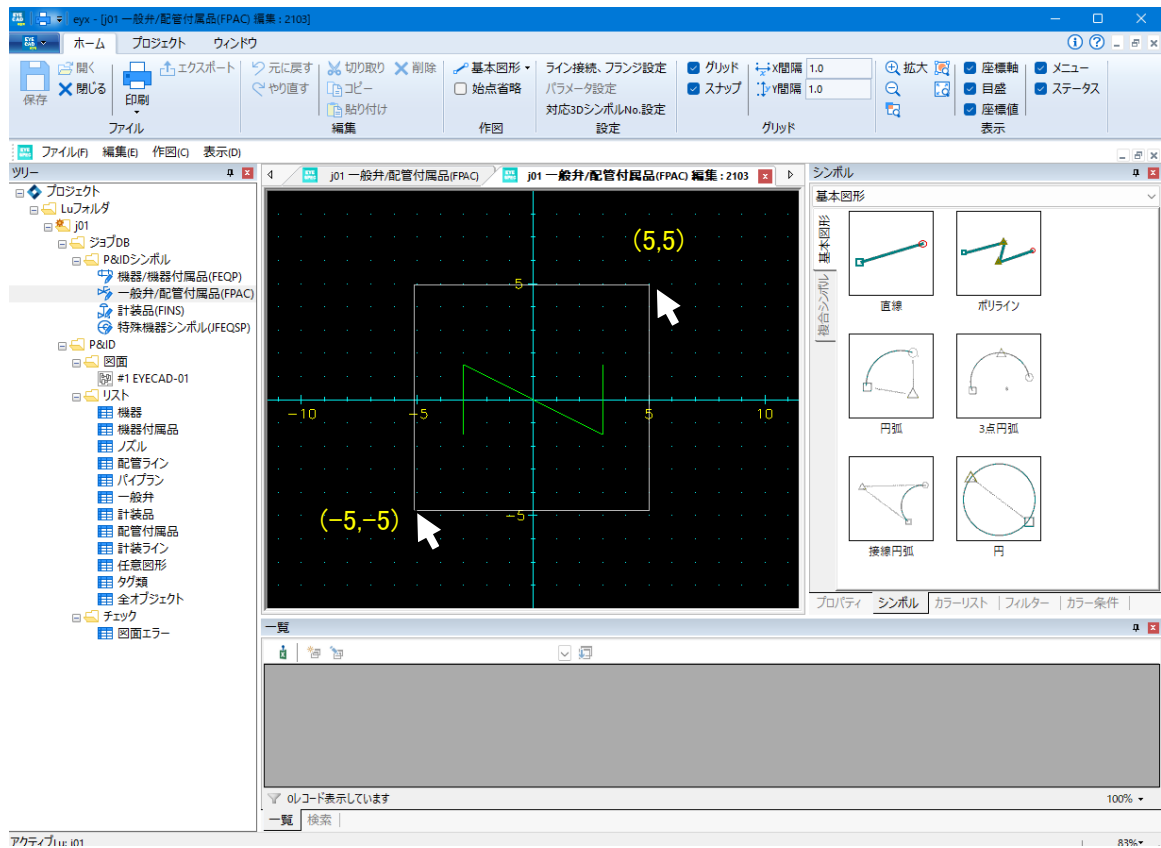
ここで 2103 をダブルクリックするとシンボル編集画面が現れます。



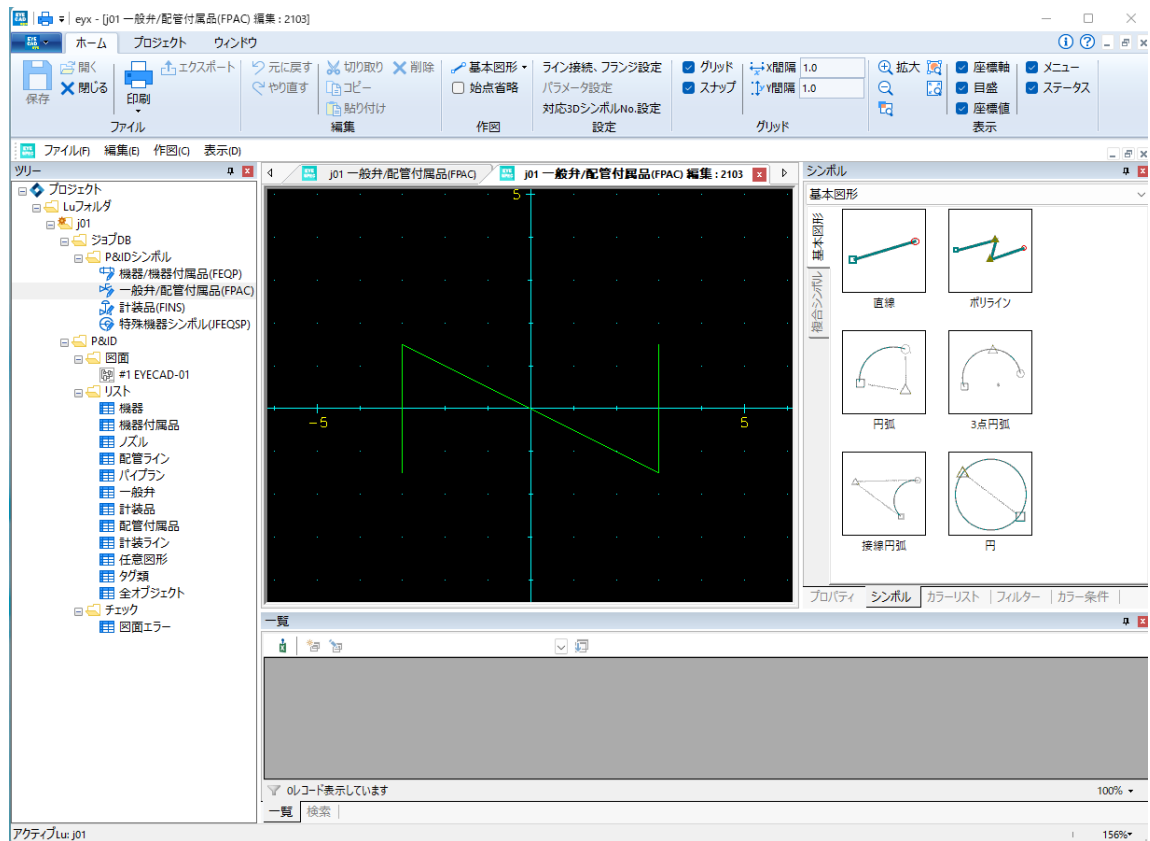
このシンボル編集画面でシンボルの形状を修正することができますようになります。画面右側にシンボルが現れていない場合は **シンボル** タブをクリックします。



編集画面を拡大します。「表示」メニューの「ボックス拡大」または  ボタンを押し、マウス左ボタン(-5,-5)付近クリックしたまま(5,5)の付近まで移動したらボタンを離します。

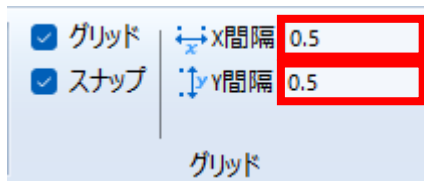


画面が拡大表示されます。

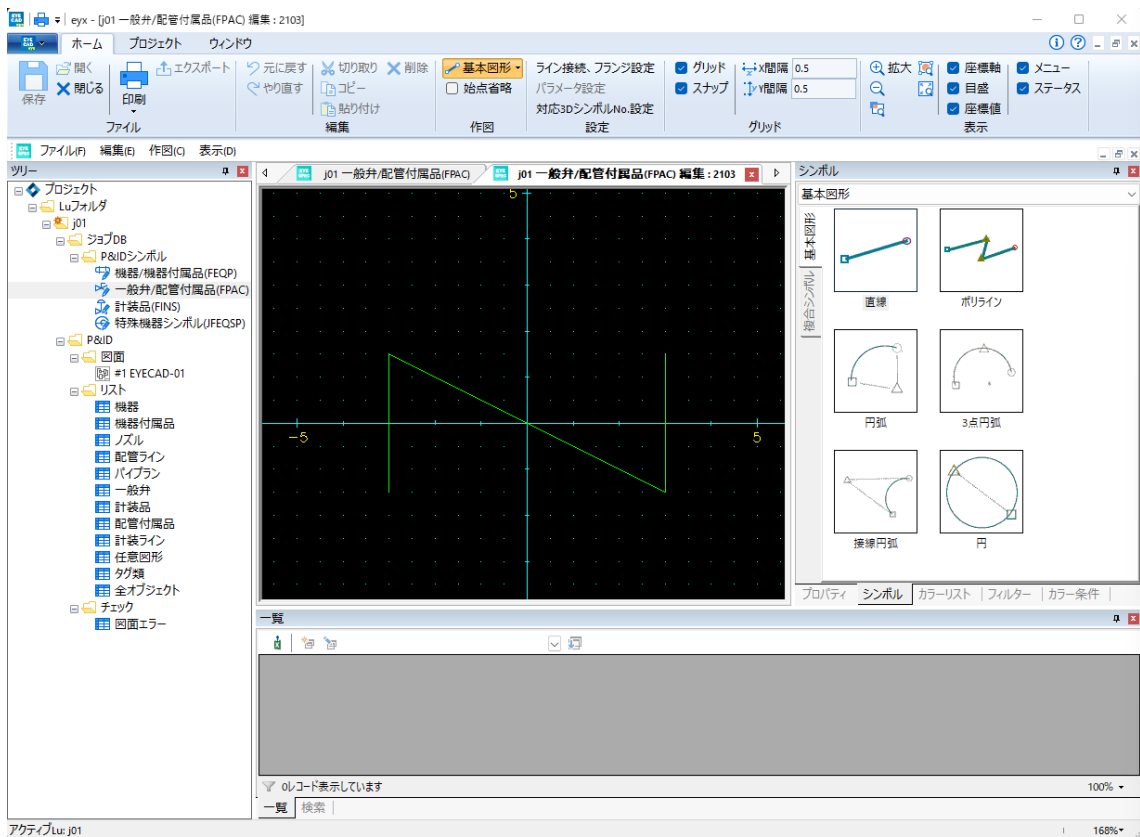


ここで矢印を追加するのですがその前にグリッド間隔を変更します。

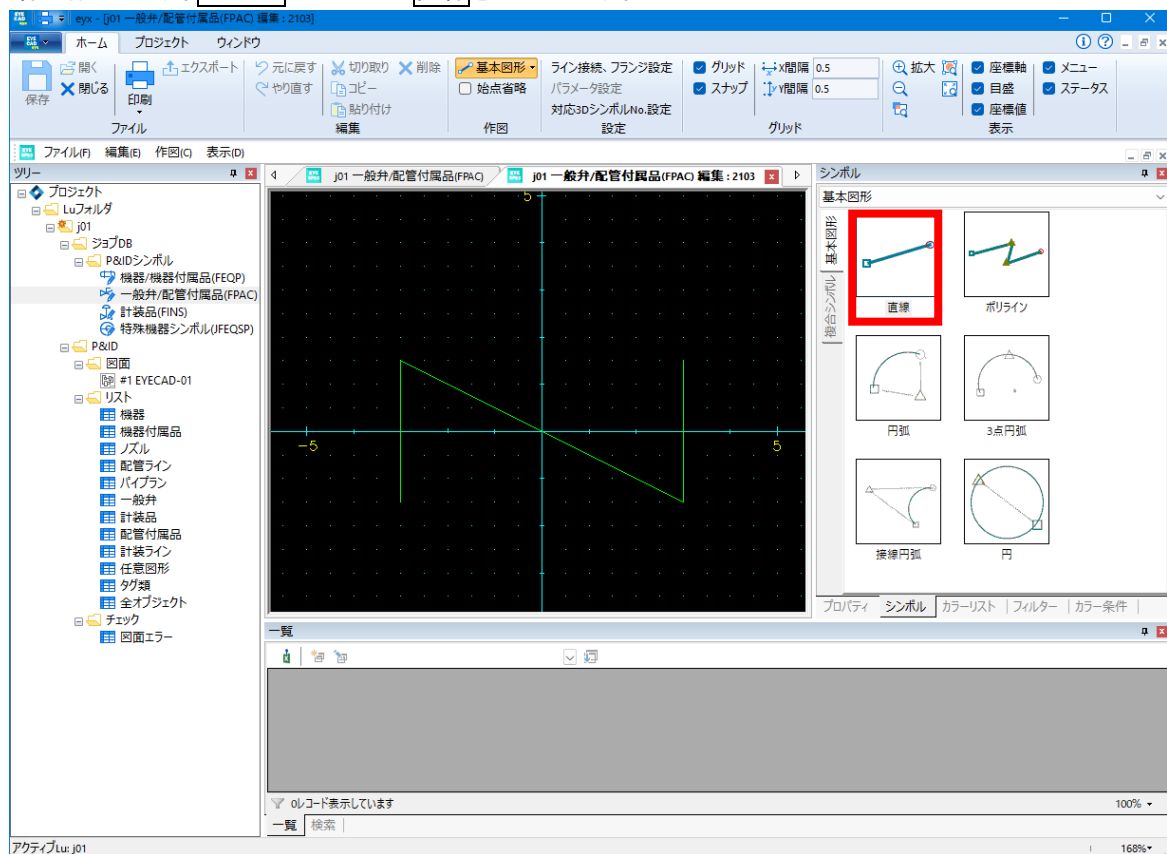
リボンのグリッドの x 間隔と y 間隔それぞれ 0.5 と入力して Enter ボタンをクリックします。



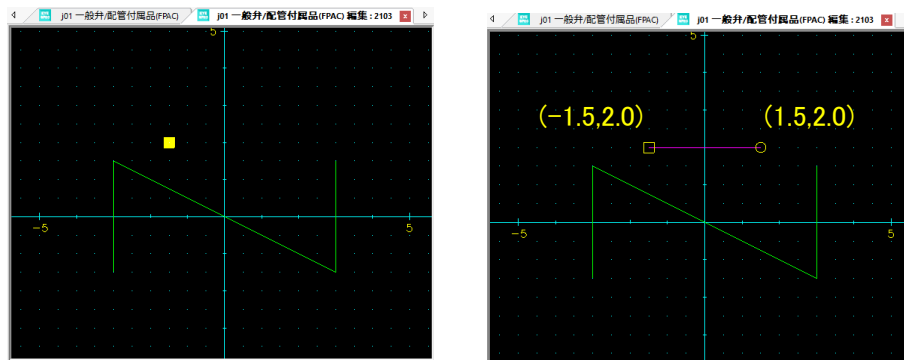
グリッドの間隔が 0.5 に変わります。



矢印は直線で作成します。**シンボル**タブ内にある**直線**をクリックします。

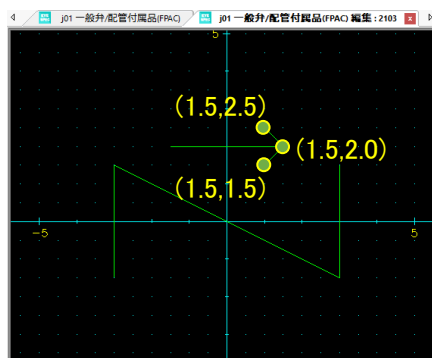


(-1.5,2.0)の位置でマウスをクリックすると黄色の四角が現れます。そのままマウスを(1.5,2.0)の位置まで移動してクリックすると下図のように直線が引けます。直線がピンク色になるのは現在その直線が選択されていることを表しています。



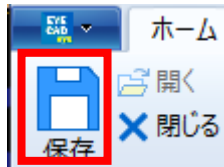
繰り返し画面右のシンボルウィンドウの直線をクリックして(1.5,2.5)と(2.0,2.0)に直線を引きます。

繰り返し画面右のシンボルウィンドウの直線をクリックして(1.5,1.5)と(2.0,2.0)に直線を引きます。

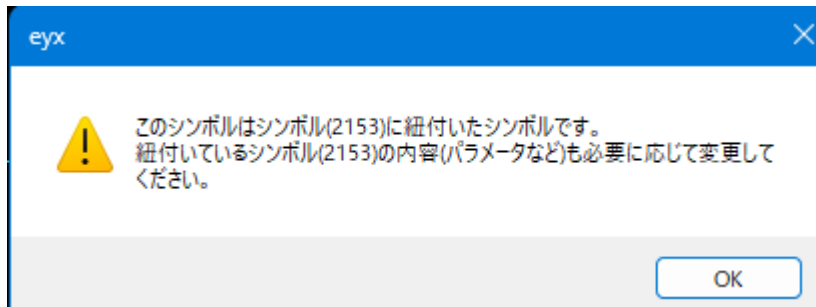


座標値や黄枠の緑の点は座標値の位置を示すもので実際の画面には現れません

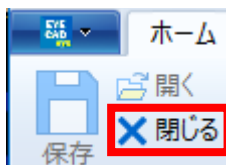
ここまでの作業が完了したらリボン左の**保存**ボタンをクリックします。



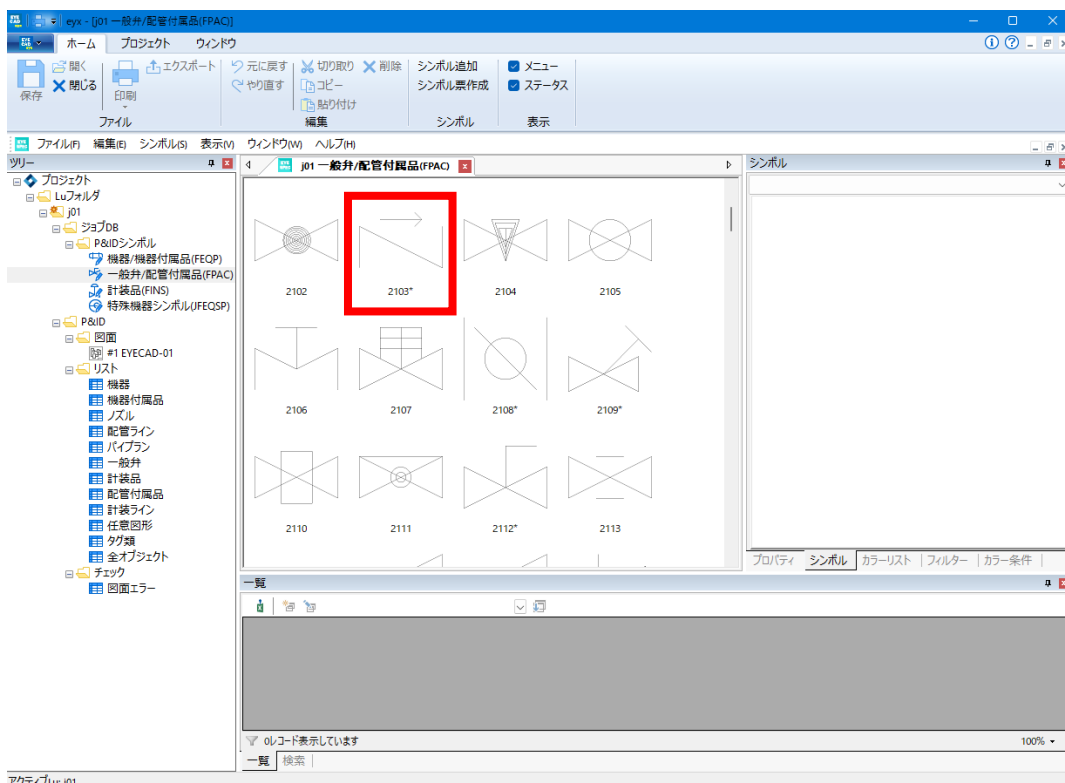
以下のメッセージが現れます。これは逆止弁:2103と逆止弁:2153 は反転シンボルの関係にあるためで鏡反転貼り付けや流れ方向を切り替えたとき逆止弁:2103 は逆止弁:2153 に変わります。そのため反転シンボルの片方を変更した場合他方も修正が必要となりこのメッセージが現れます。ここでは**OK**を押してダイアログを閉じてください。



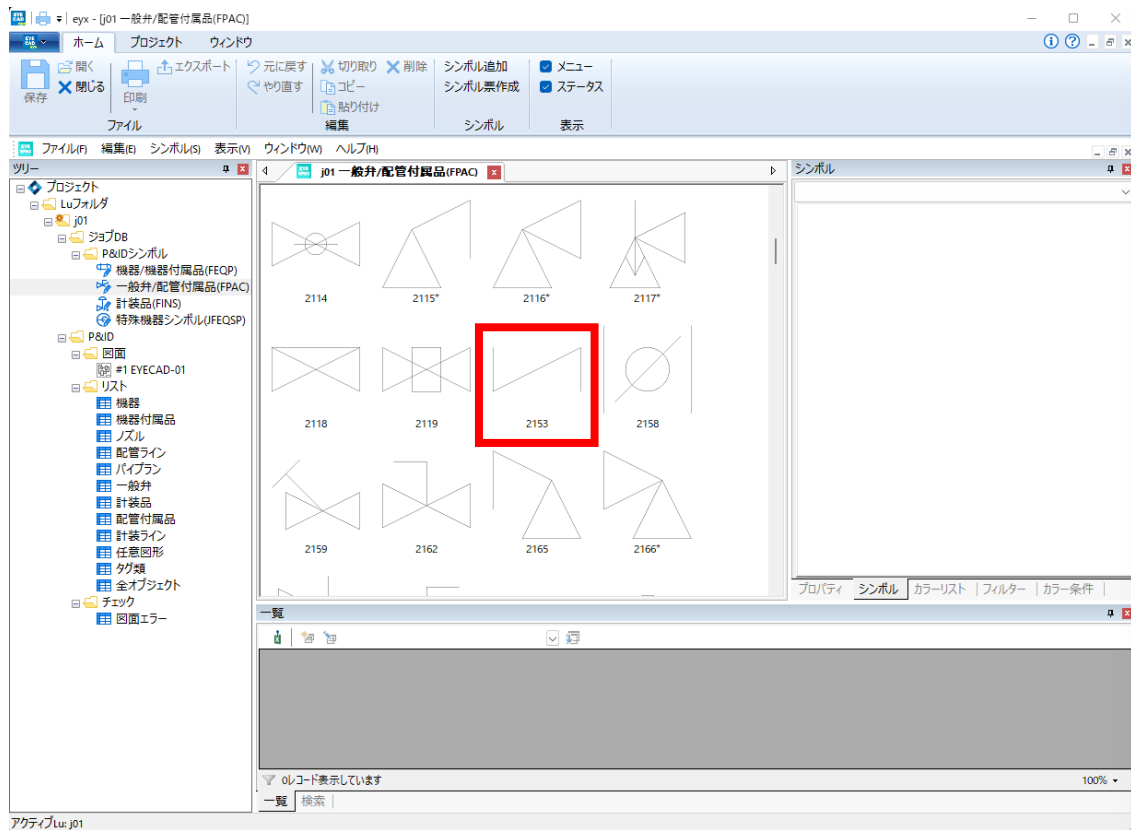
次に**閉じる**ボタンをクリックします。



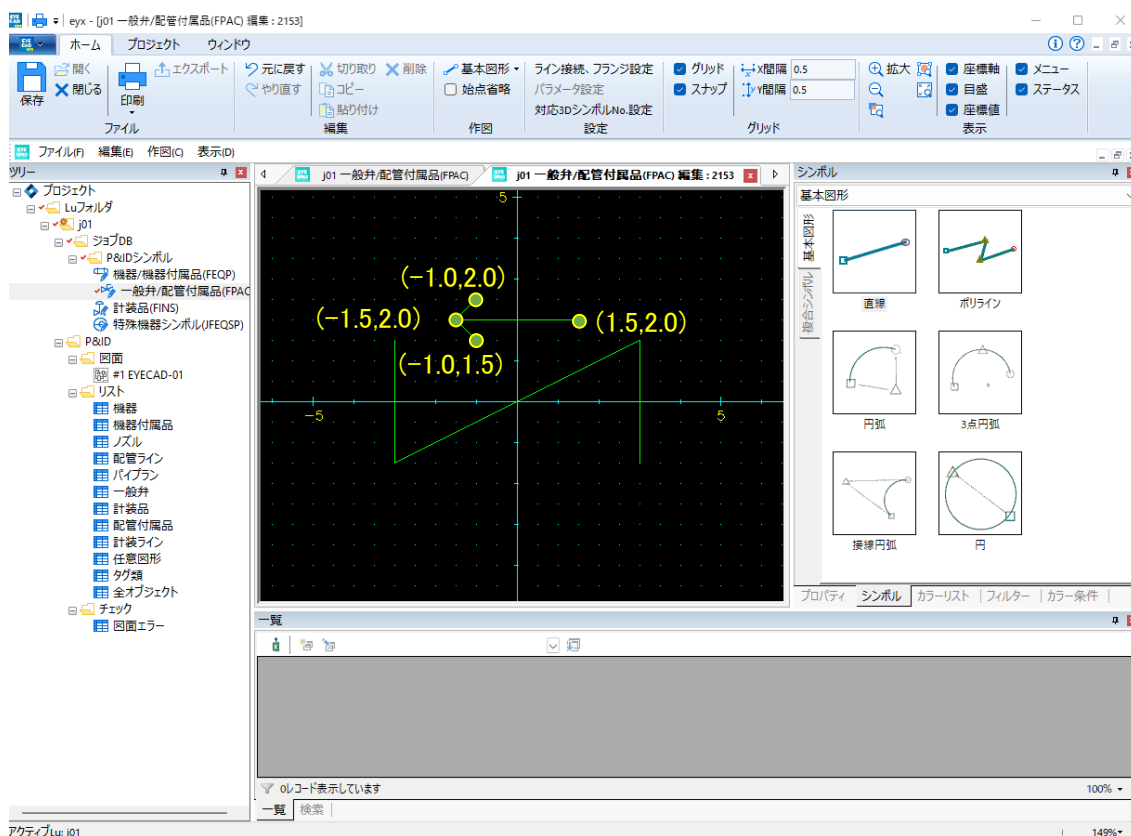
一般弁/配管付属品(FPAC)一覧画面のアイコンが更新されていることが確認できます



同様の手順で反転シンボルである逆止弁:2153 を修正します。

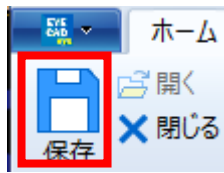


反転シンボルなので逆止弁:2103 とは逆の矢印を(-1.5,2.0)から(1.0,2.0)、(-1.5,2.0)から(-1.0,2.5)、(-1.5,2.0)から(-1.0,1.5)に直線を 3 本引きます

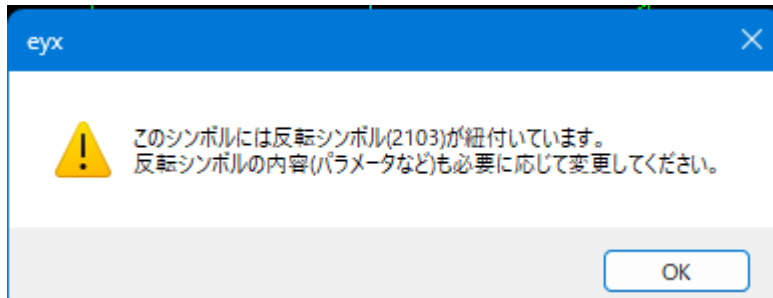


座標値や黄枠の緑の点は座標値の位置を示すもので実際の画面には現れません

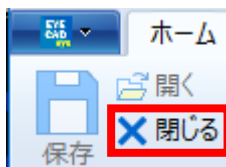
矢印の入力が完了したらリボン左の「保存」ボタンをクリックします。



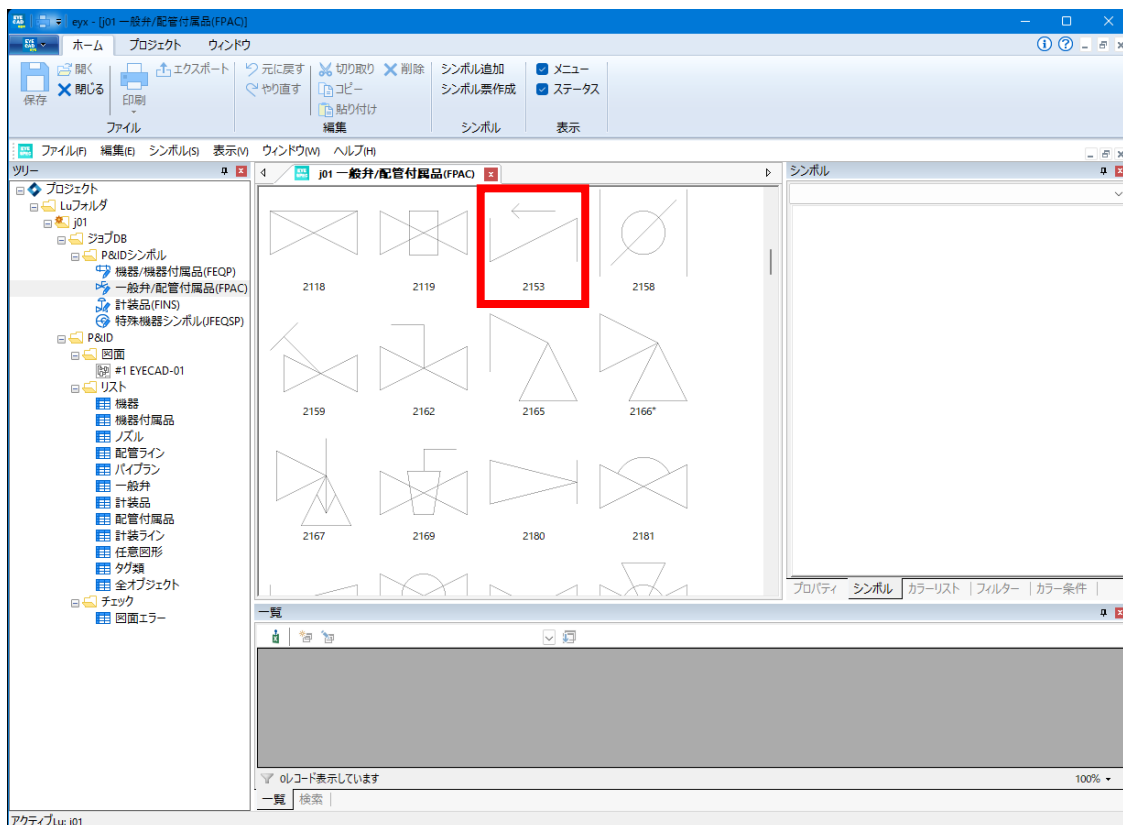
以下のメッセージが現れます。ここでは「OK」を押してダイアログを閉じてください。



次に「閉じる」ボタンをクリックします。

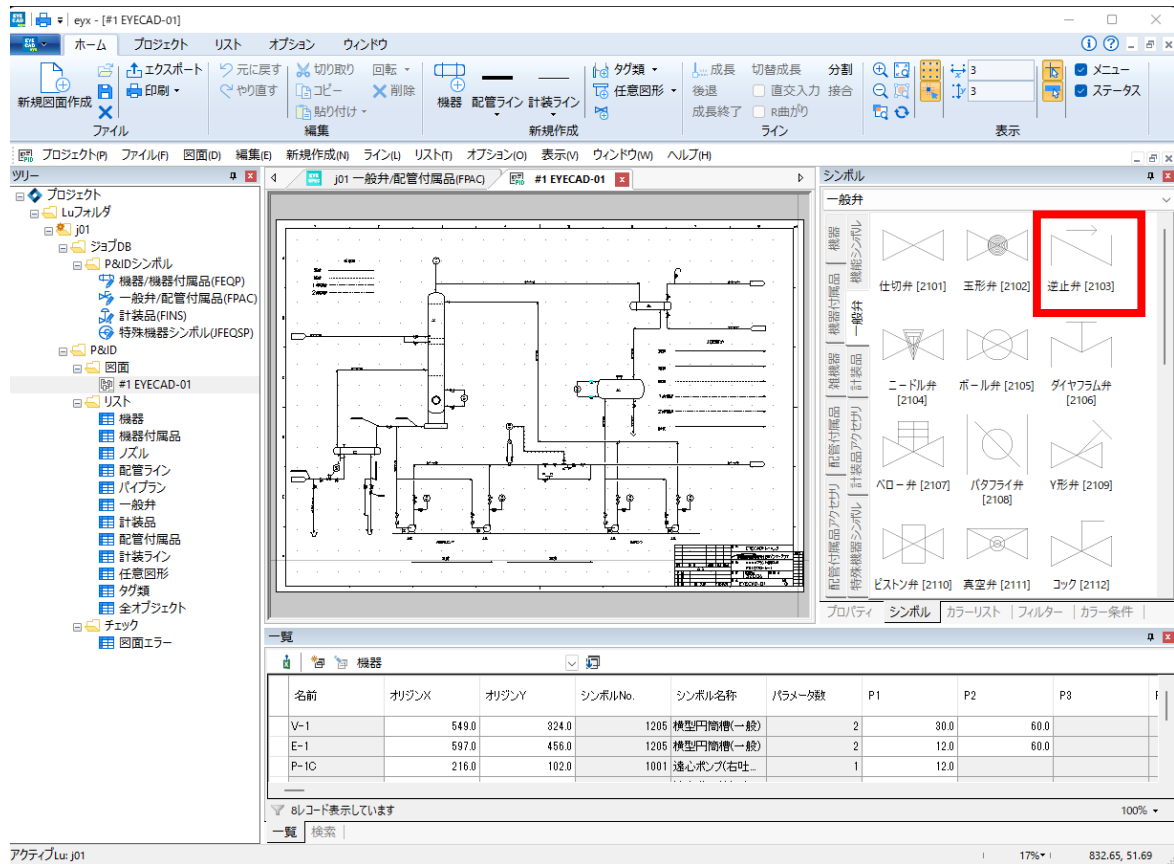


一般弁/配管付属品(FPAC)一覧画面のアイコンが更新されていることが確認できます



以上で逆止弁(2103,2105)シンボルの修正は完了です。

プログラムを終了し、図面を起動するとシンボルウィンドウの一般弁シンボルの逆止弁[2103]が変わっていることが確認できます。既に図面内で逆止弁を使っている場合もシンボルが変わります。



The screenshot shows the EYECAD software interface. The main window displays a P&ID diagram. On the right, the 'シンボル' (Symbol) window is open, showing a list of symbols. The '一般弁' (General Valve) section is selected, and the '逆止弁 [2103]' symbol is highlighted with a red box. Below the diagram, a table lists the symbols used in the diagram.

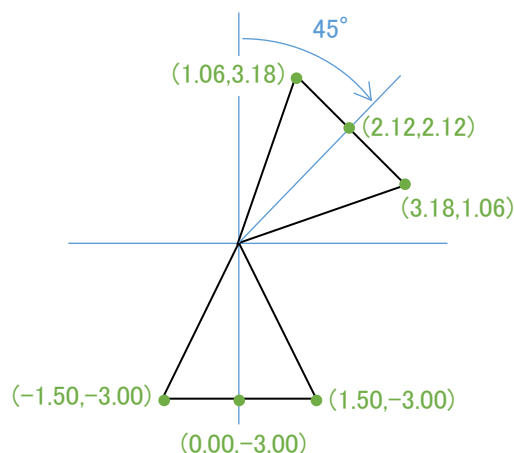
名前	オリジンX	オリジンY	シンボルNo.	シンボル名称	パラメータ数	P1	P2	P3	f
V-1	549.0	324.0	1205	模型円筒槽(一般)	2		30.0	60.0	
E-1	597.0	456.0	1205	模型円筒槽(一般)	2		12.0	60.0	
P-10	216.0	102.0	1001	遠心ポンプ(右吐)	1		12.0		

11-2.45° 計装タンク弁の作成(シンボルをコピーして修正)

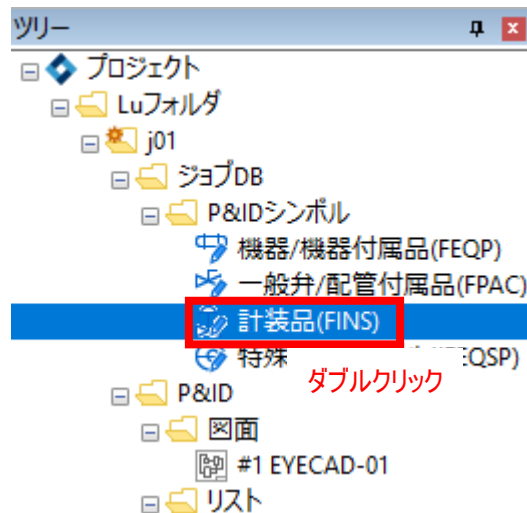
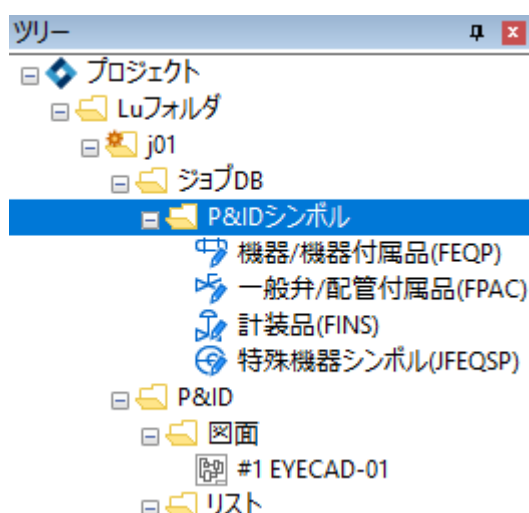
作業 Lu に **j01 シンボル編集用Lu** を使用します。先のチュートリアルで使用した Lu をそのまま使うこともできますが、Lu がなければチュートリアル zip 内に収録されている Lu を解凍しセットアップドライブ:¥EYECAD フォルダ以下にコピーしてください。EYECADフォルダ以下にフォルダ名が j01 で始まるものがある場合は名前を変更するか別のフォルダに移動してください。

作業概要

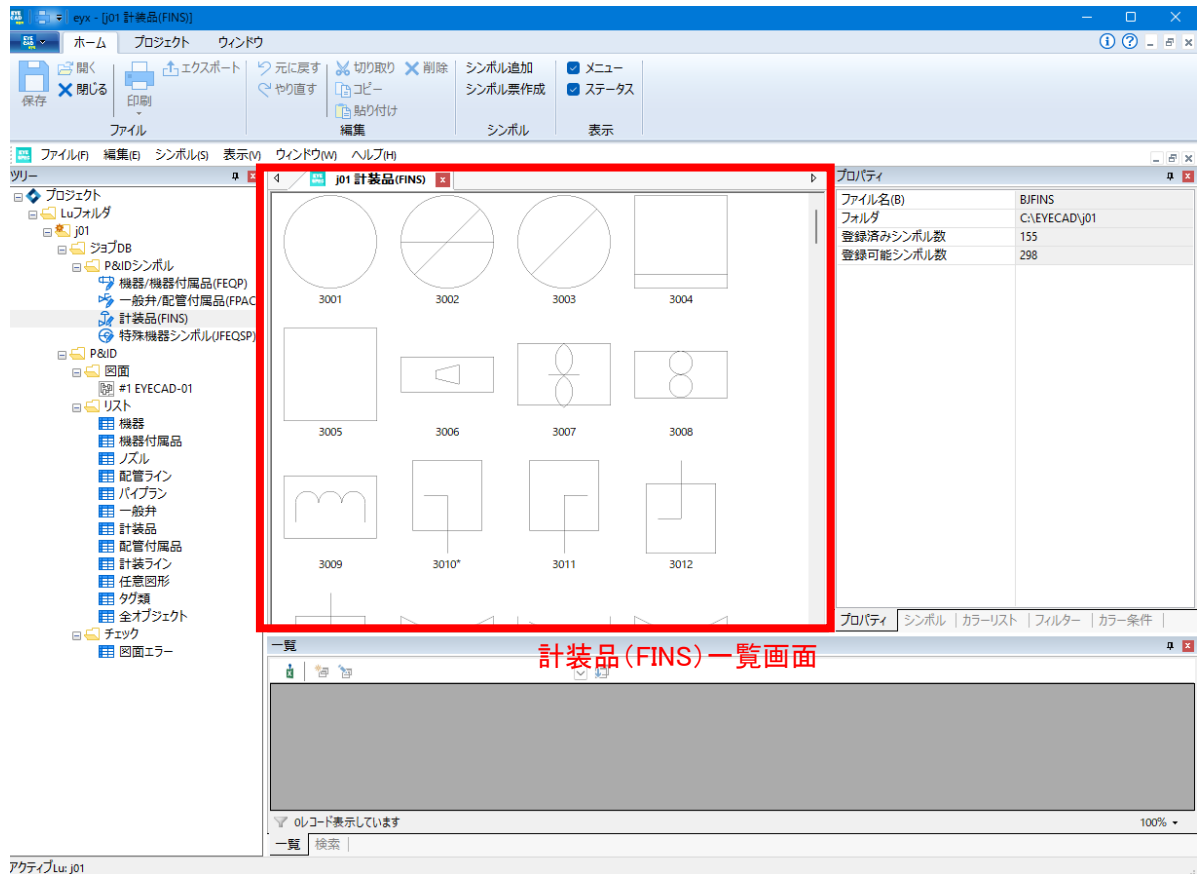
以下の 45° 計装タンク弁のシンボルを作成します。形状の似たアングル形調整弁:3029 をコピーして作成します。V10.00 に標準 DB にある 45° 計装タンク弁(3075,3076)は実際の角度は 60° に近いものなので改めて作成します。



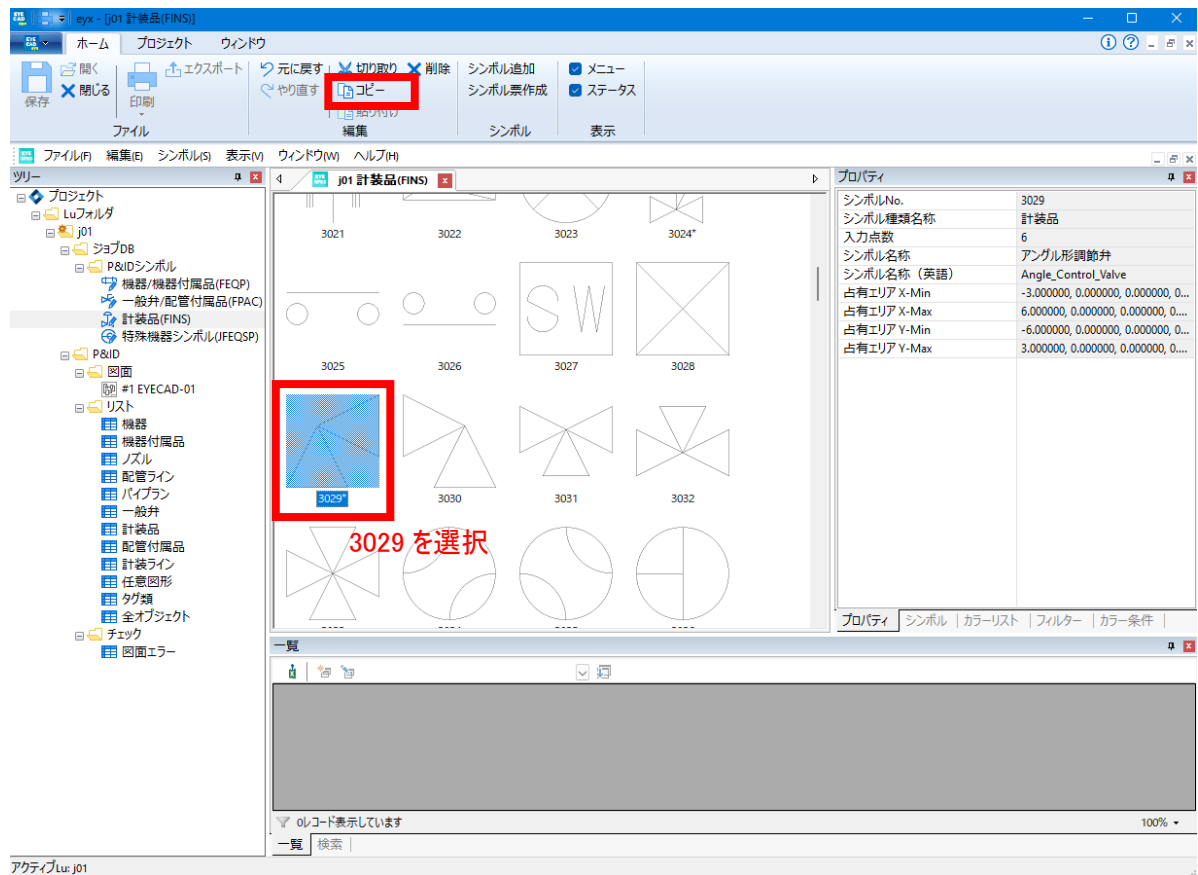
先ほどのチュートリアル 10-1. 逆止弁の形状の変更(一般弁シンボルの修正)と同様に j01 を起動します。j01 は事前にバックアップを取ってください。ツリーの **P&ID シンボル** を開いたら今回は **計装品(FINS)** をダブルクリックします



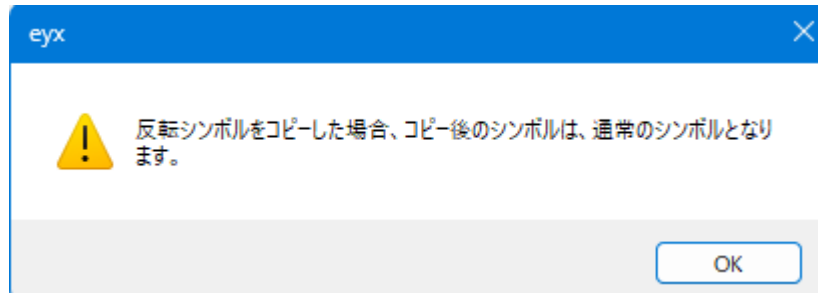
以下の計装品(FINS)一覧画面が現れます。



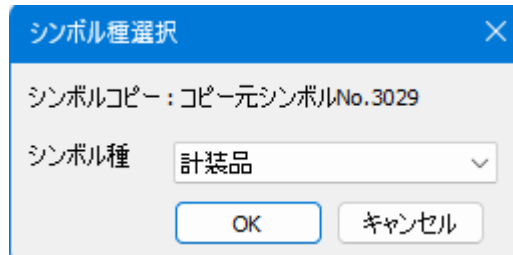
シンボル:3029 が現れるまで画面をスクロールしてシンボルを選択してリボンの「コピー」ボタンをクリックします。



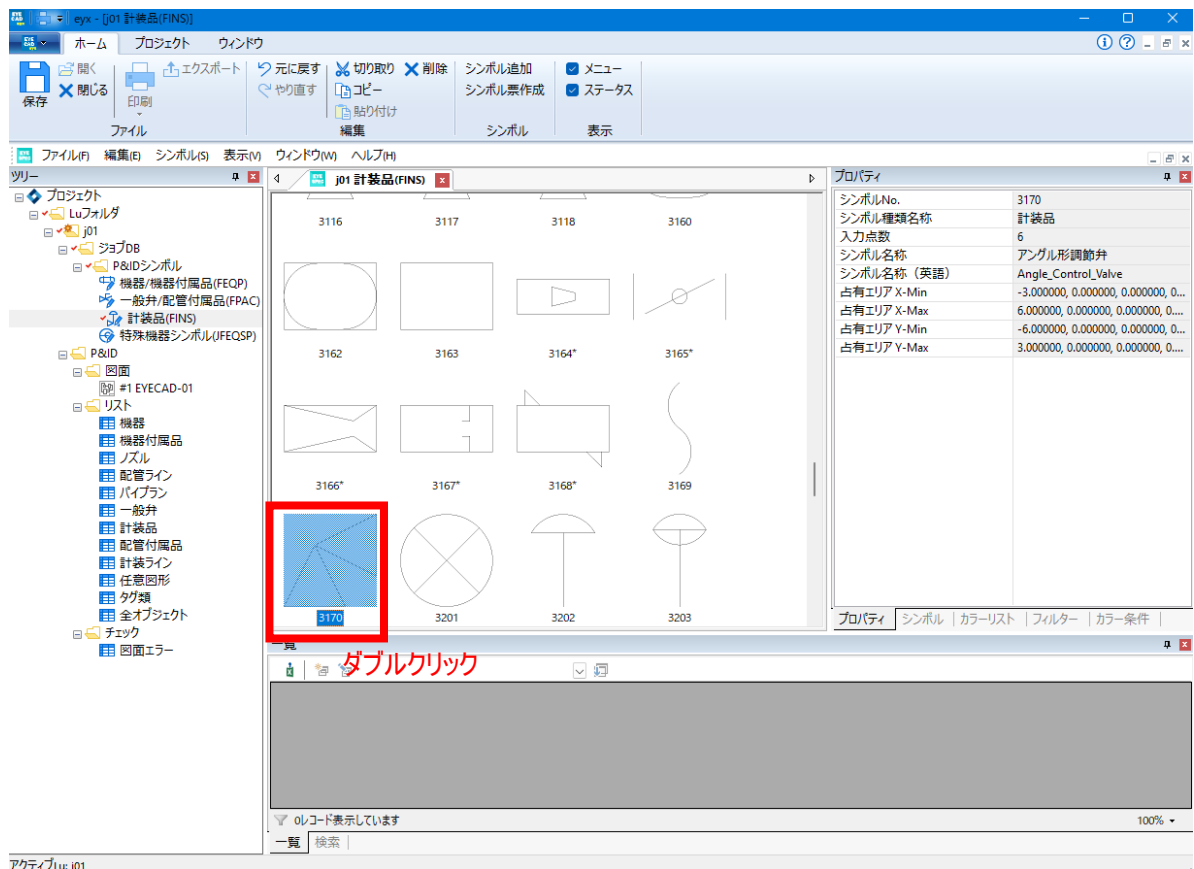
以下のダイアログが現れるので **OK** ボタンをクリックします。



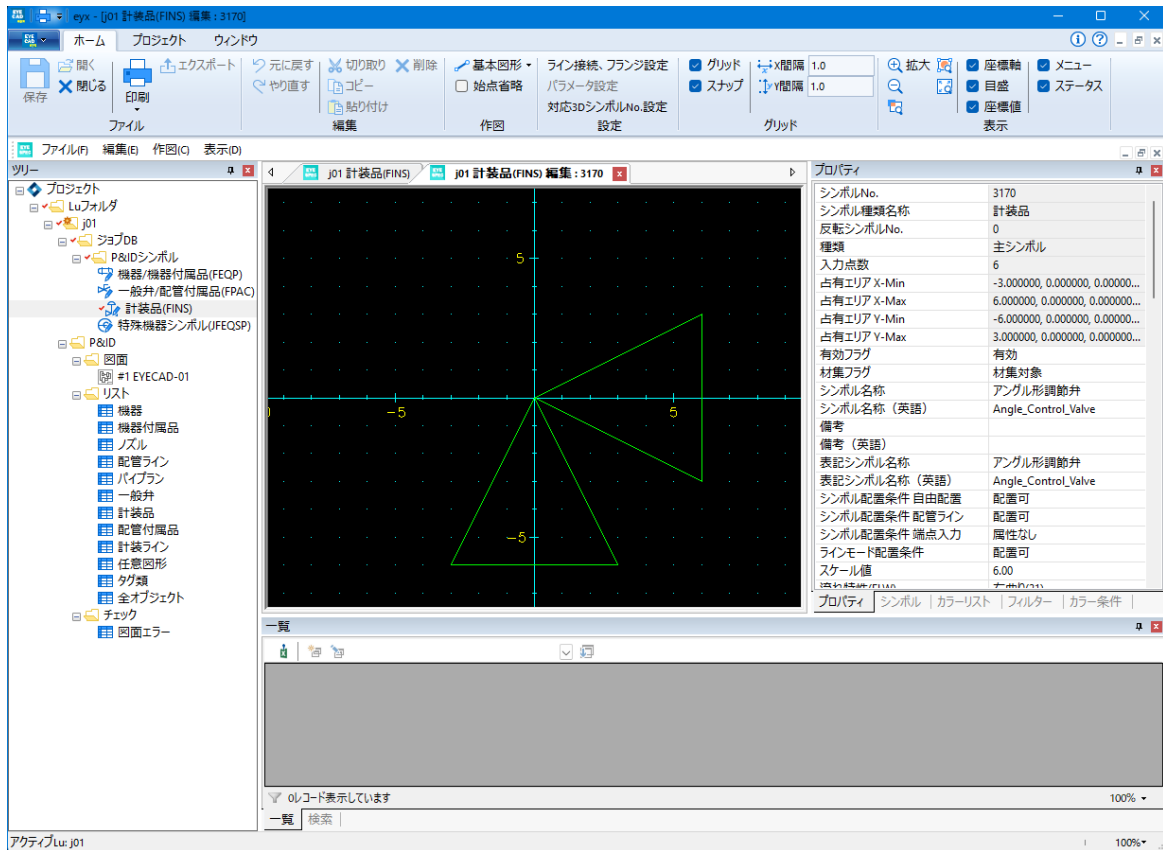
以下のシンボル種選択ダイアログが現れるので **OK** ボタンをクリックします。



下図の通り新たな計装品シンボル:3170 が追加されます。シンボル No は計装品シンボルの空き番号が自動で割り当てられます。使用するジョブ DB により割り当てられるシンボル No.は異なり場合があります。
このシンボル No.3170 をダブルクリックしてシンボル編集画面にします。



以下の画面が現れます。シンボルの形状はアングル形調整弁と同じものになります。

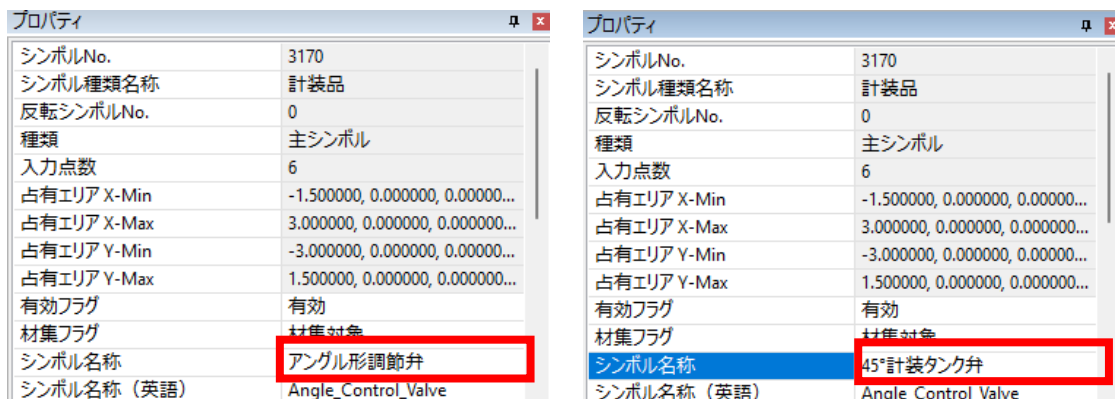


ここでまず以下プロパティを変更します。

No.	プロパティ名	設定値	説明
1	シンボル名称	45° 計装タンク弁	
2	シンボル名称(英語)	45deg Tank_Valve	
3	表記シンボル名称	45° 計装タンク弁	シンボルー覧や一覧リストに現れる名前
4	表記シンボル名称(英語)	45deg Tank_Valve	
5	スケール値	3.00	画面上的シンボルの大きさアングル形調節弁の半分
6	記号	IT45	3D のモニターと合わせる
7	3D 参照入力対応機能コード	3075	対応する 3D の機能コード

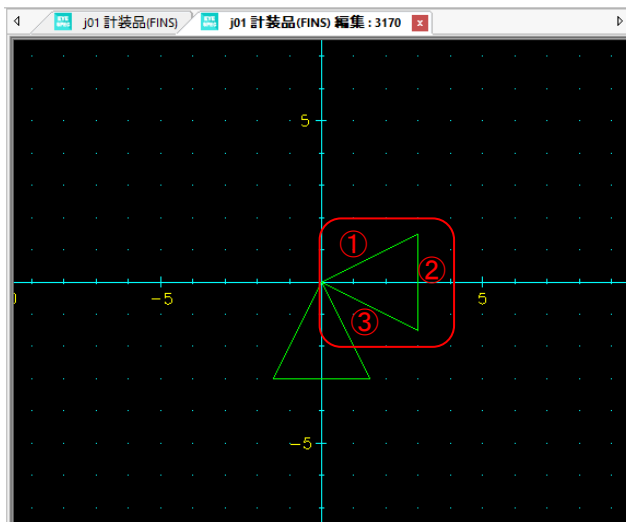
プロパティウィンドウで上記項目を探し、値が入力しているものは削除して上記設定値を入力していきます。

例)シンボル名称プロパティの値アングル形調節弁は削除して 45° 計装タンク弁 と入力。同様に他のプロパティも設定値を入力します。

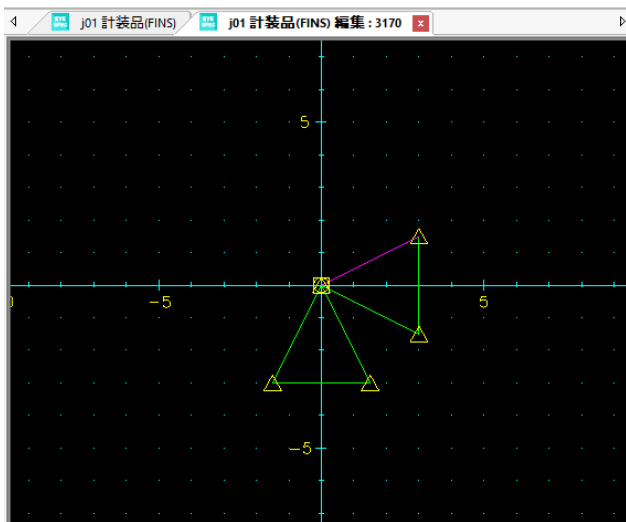


プロパティを設定値をすべて入力したら、シンボルの形状を修正します。

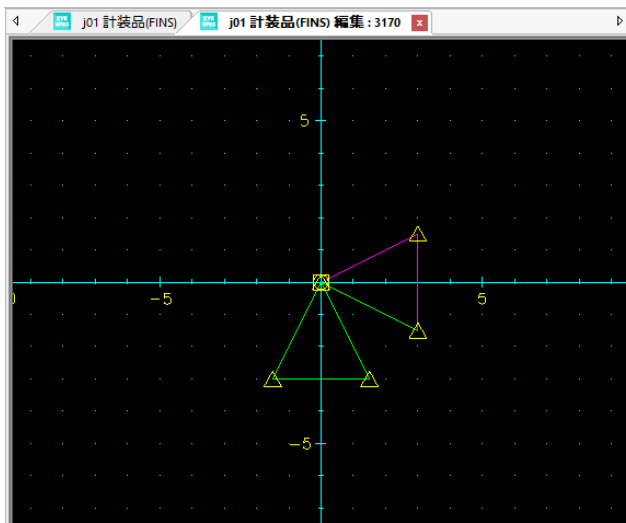
下図の赤枠で囲んだ三角形を削除します。このとき線分①、②、③を複数選択してまとめて削除します。



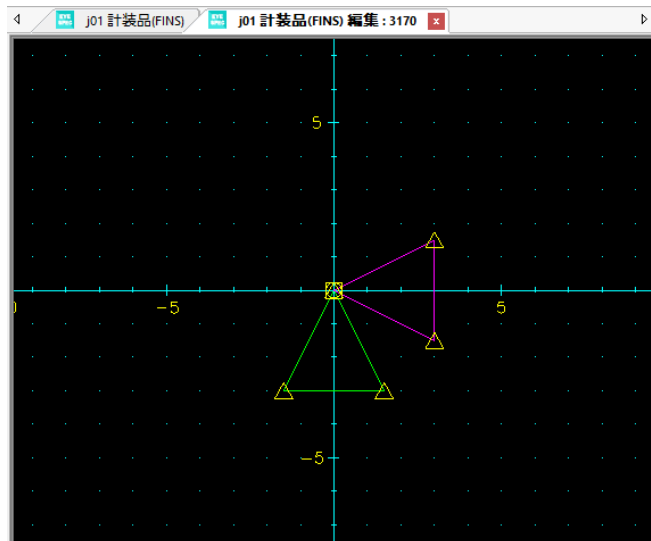
マウスで①の線分を選択します。線分がピンク色になります。



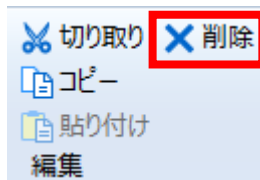
さらに CTRL キーを押しながら②の線分を選択します



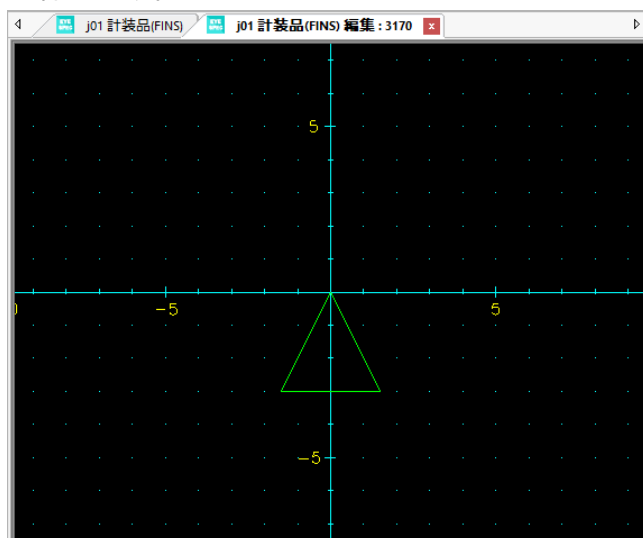
さらに CTRL キーを押しながら③の線分を選択します



3つの線分を選択したらリボンの削除ボタンをクリックします。

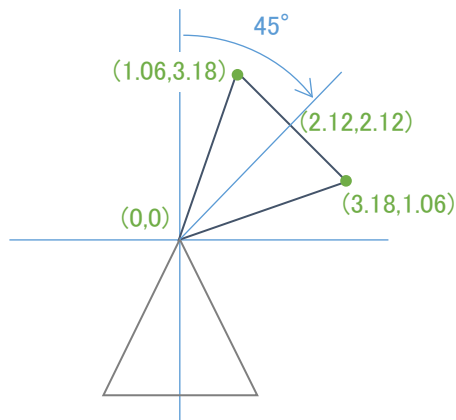


三角形が削除されます。

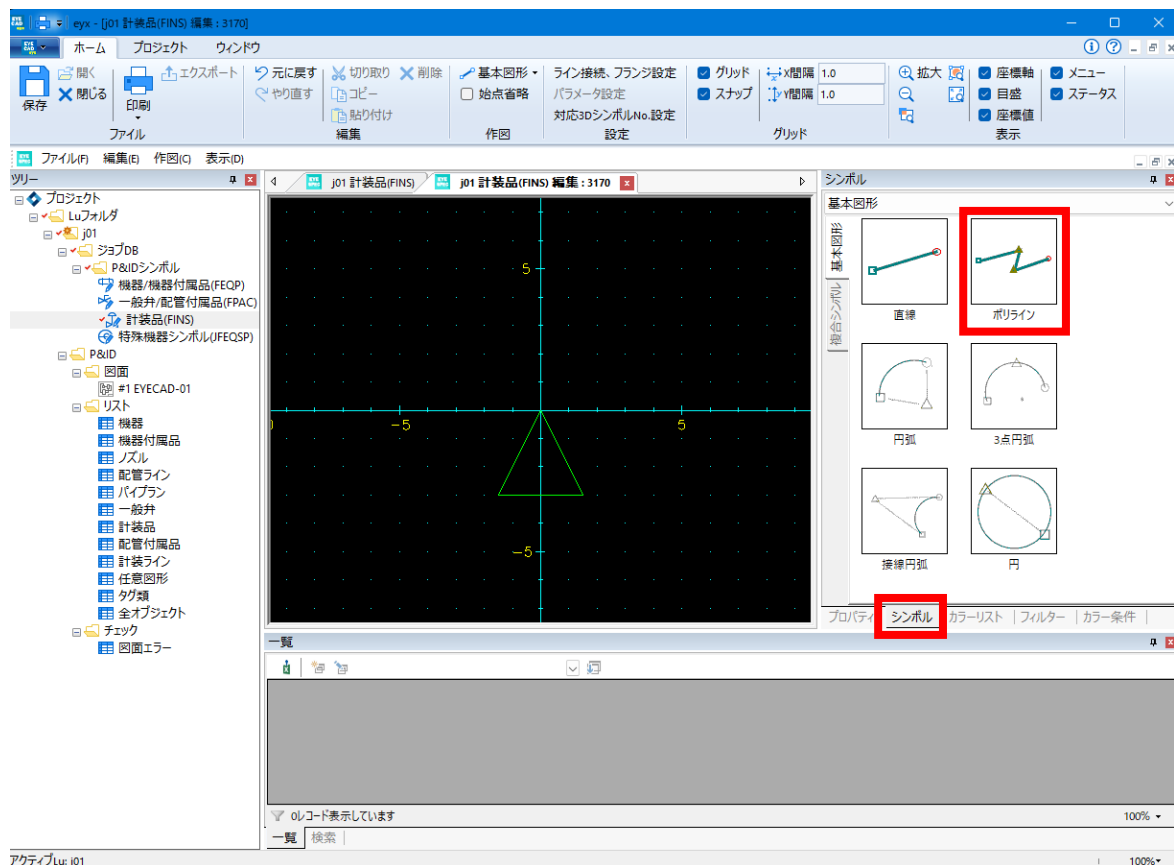


次に直線で作業概要の右上の三角形を追加します。

下図の通り(0,0),(1.06,3.18),(3.18,1.06)を結ぶ線分を入力するのですが、最初(0,0),(1,3),(3,1)の直線を入力したあとプロパティで値を変更します。

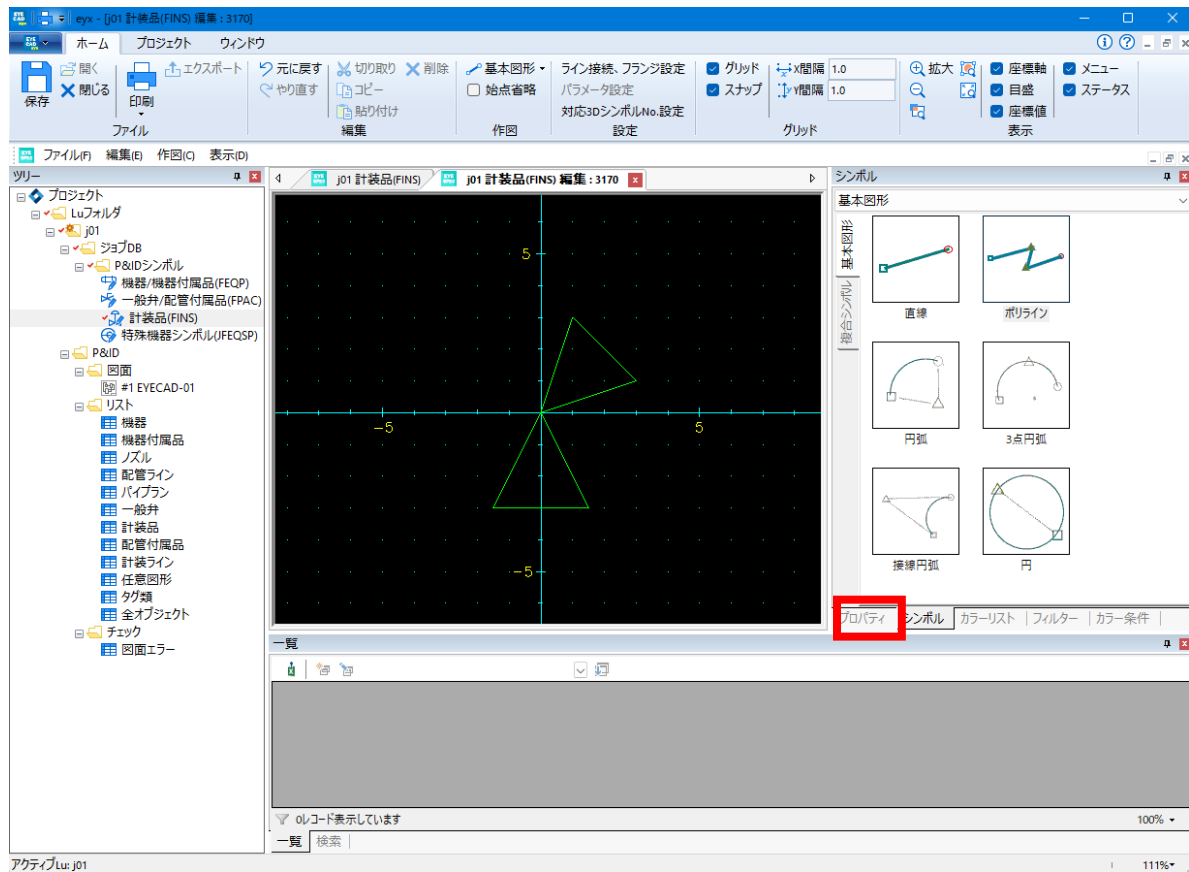


シンボルウィンドウの**シンボル**タブをクリックしてシンボラー一覧を表示し**ポリライン**アイコンをクリックします

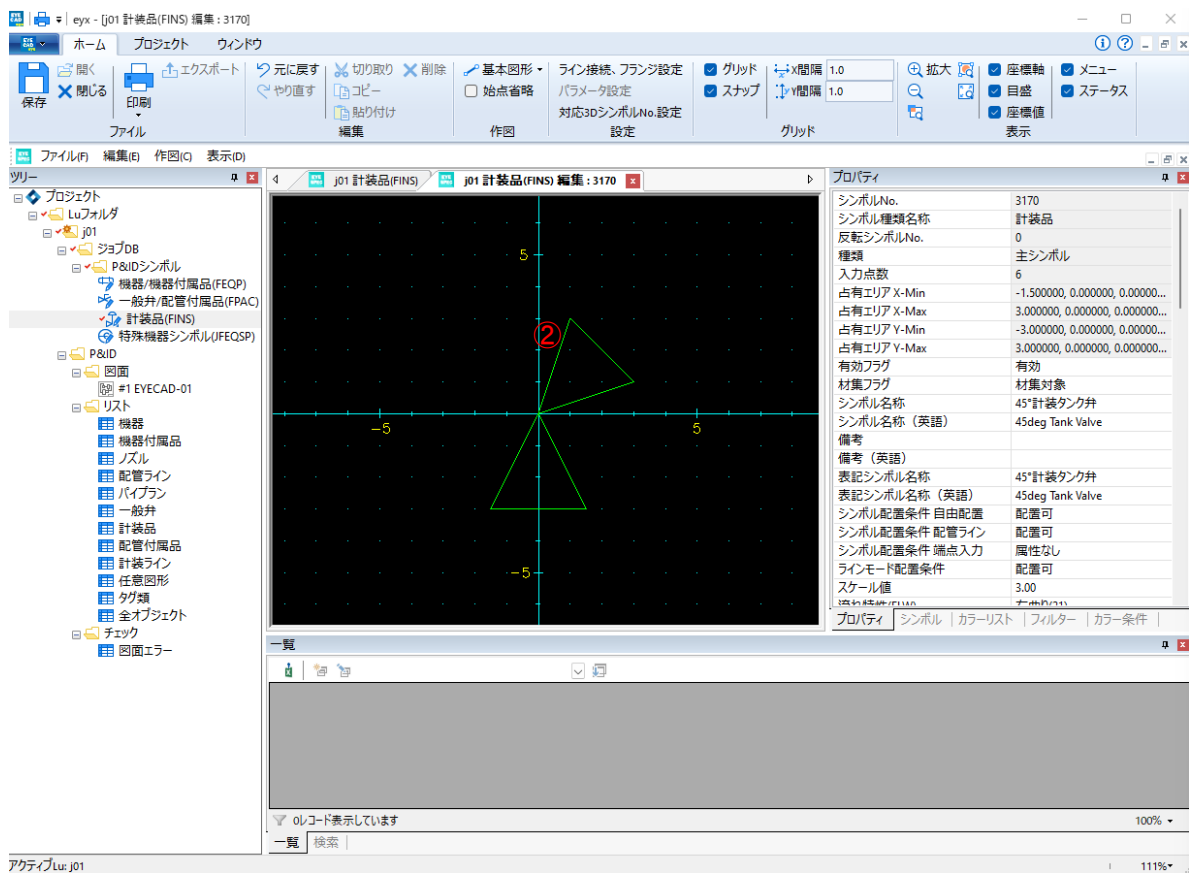


(0,0)をクリックし(1,3)までマウスを移動してクリック、次に(3,1)までマウスを移動しクリック、最後に(0,0)まで移動しダブルクリックします。

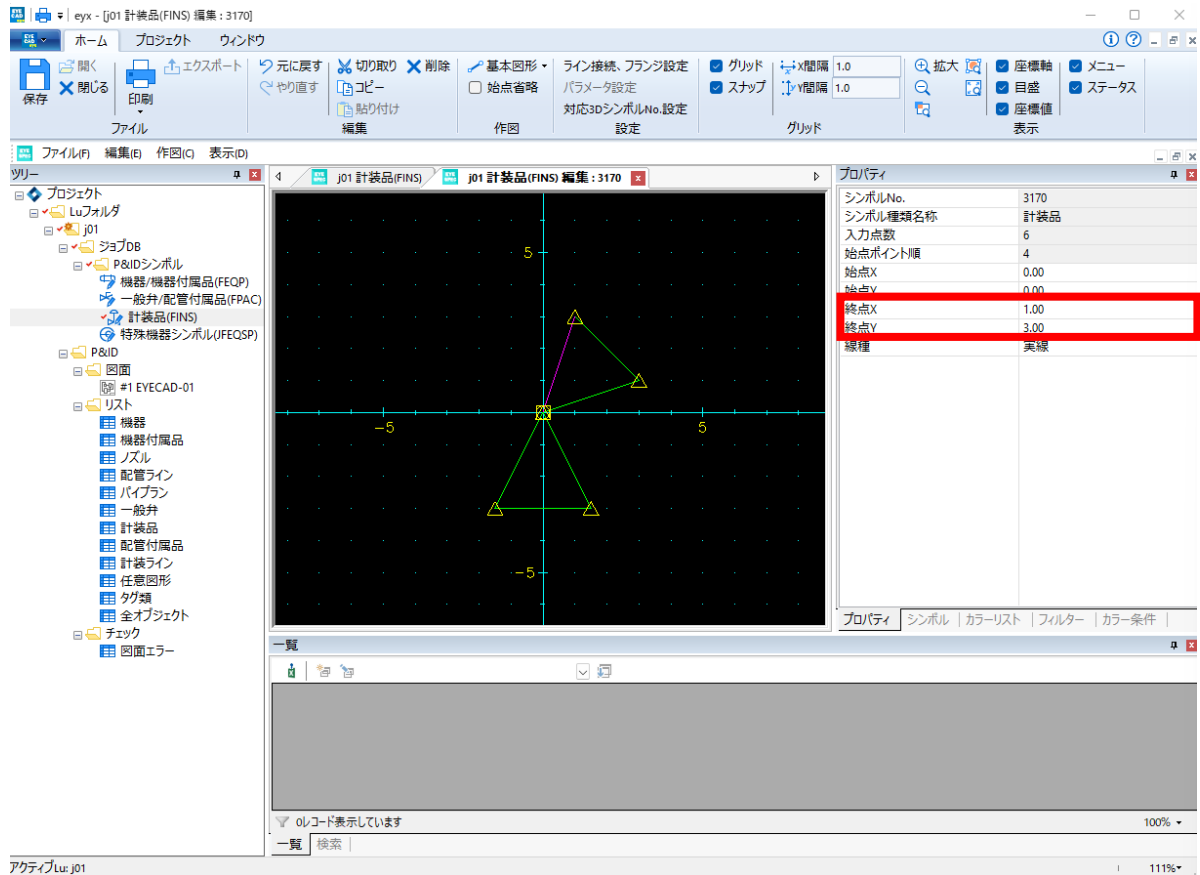
次の画面となったらプロパティウィンドウに切り替えます。



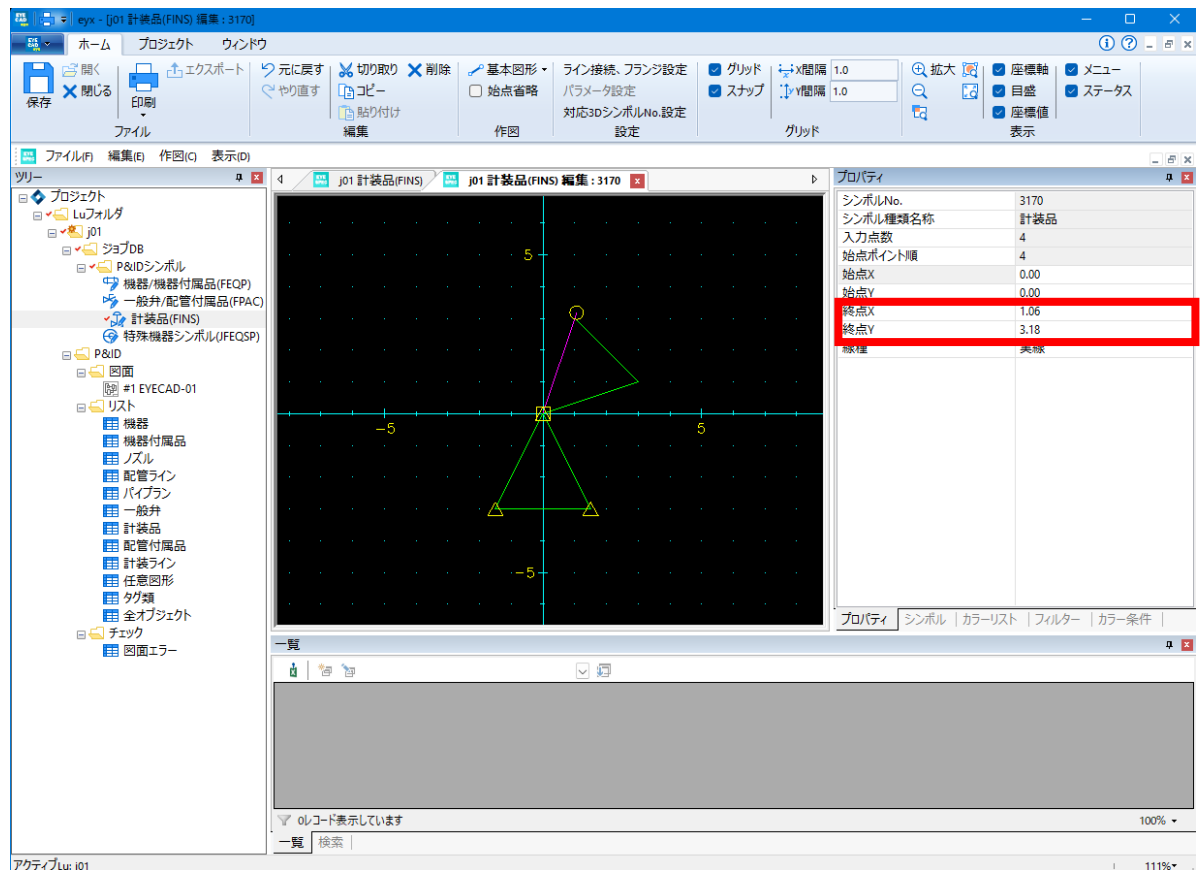
プロパティウィンドウを切り替わったら線分①を選択します



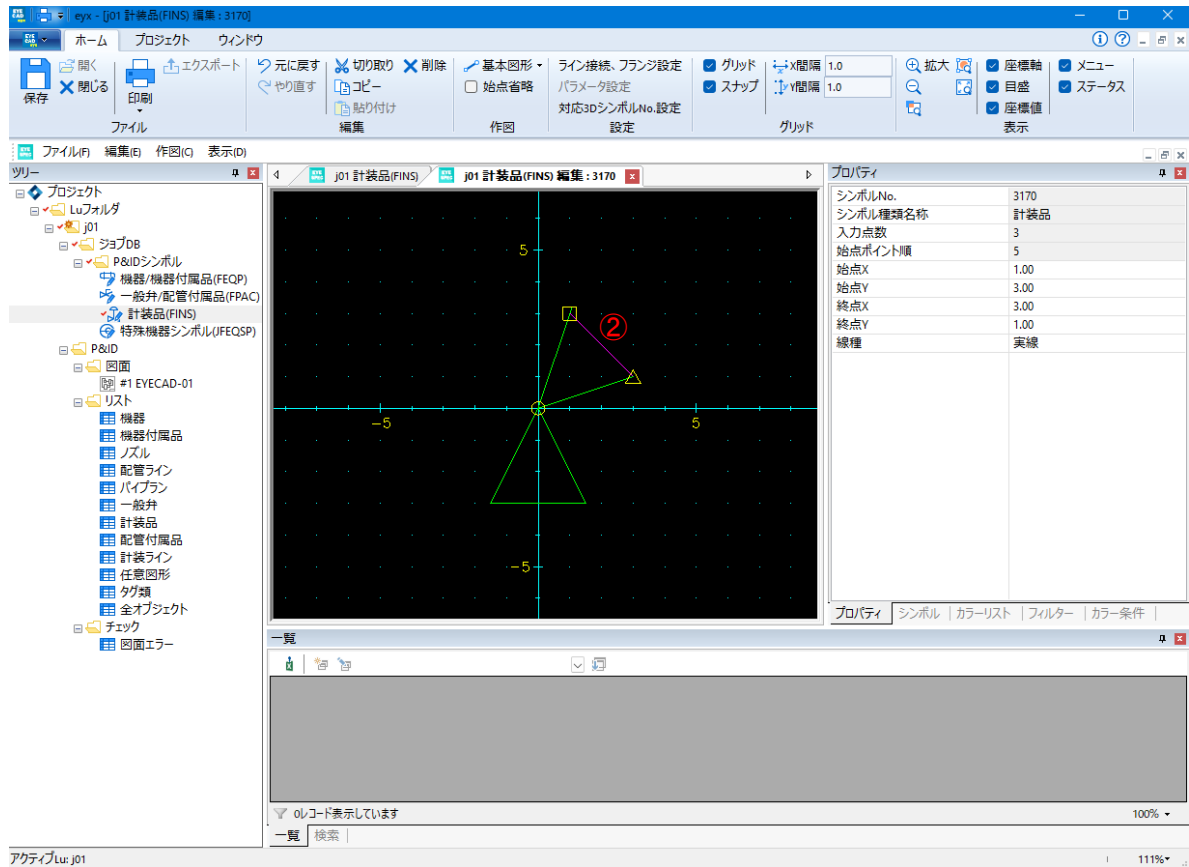
線分①のプロパティが現れるので終点 X を 1.06、次に終点 Y を 3.18 と入力して Enter キーを押します。



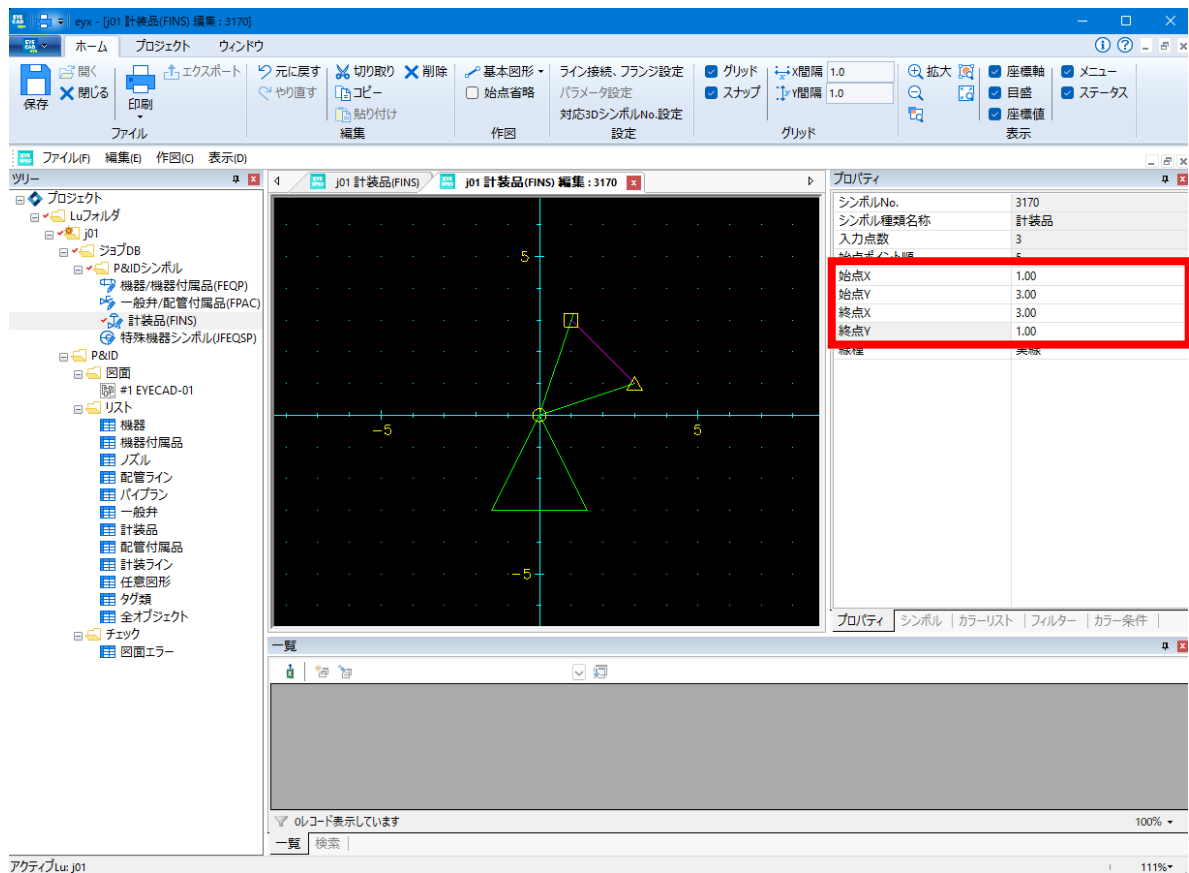
以下の画面となります



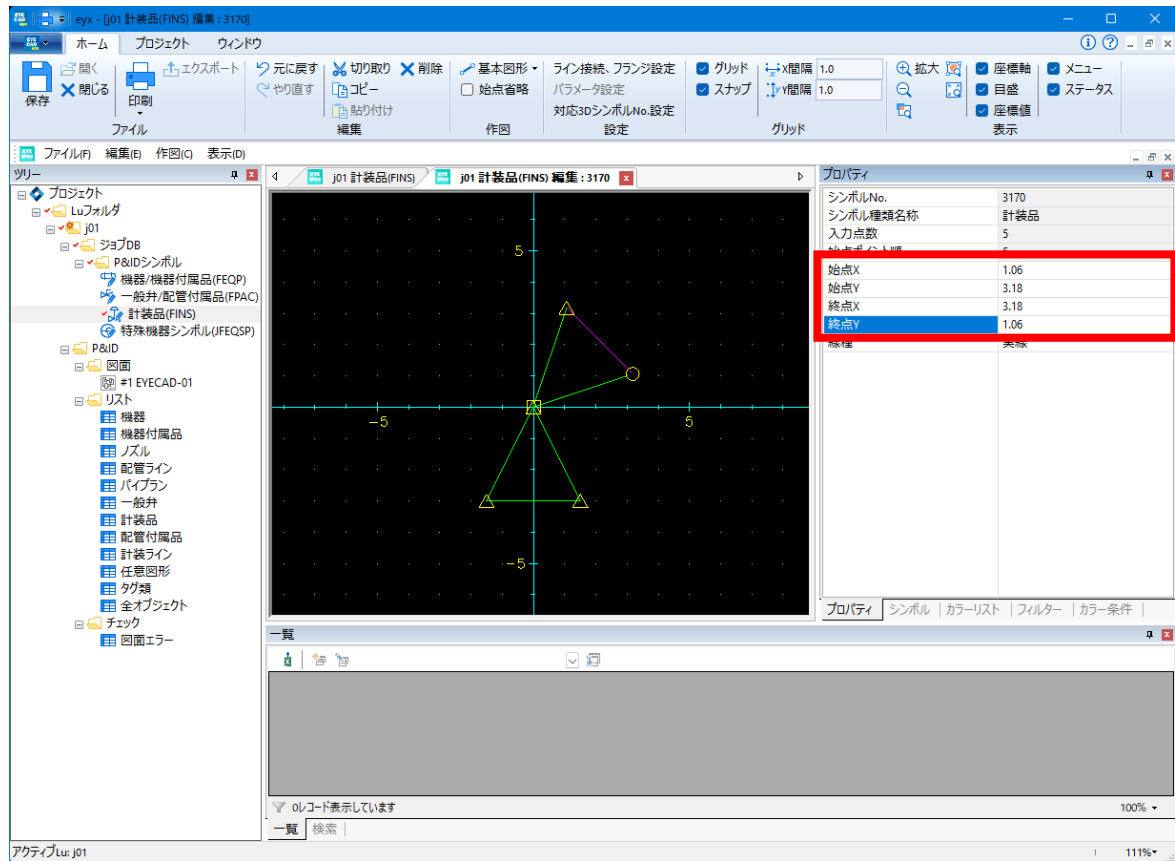
次に線分②を選択します。



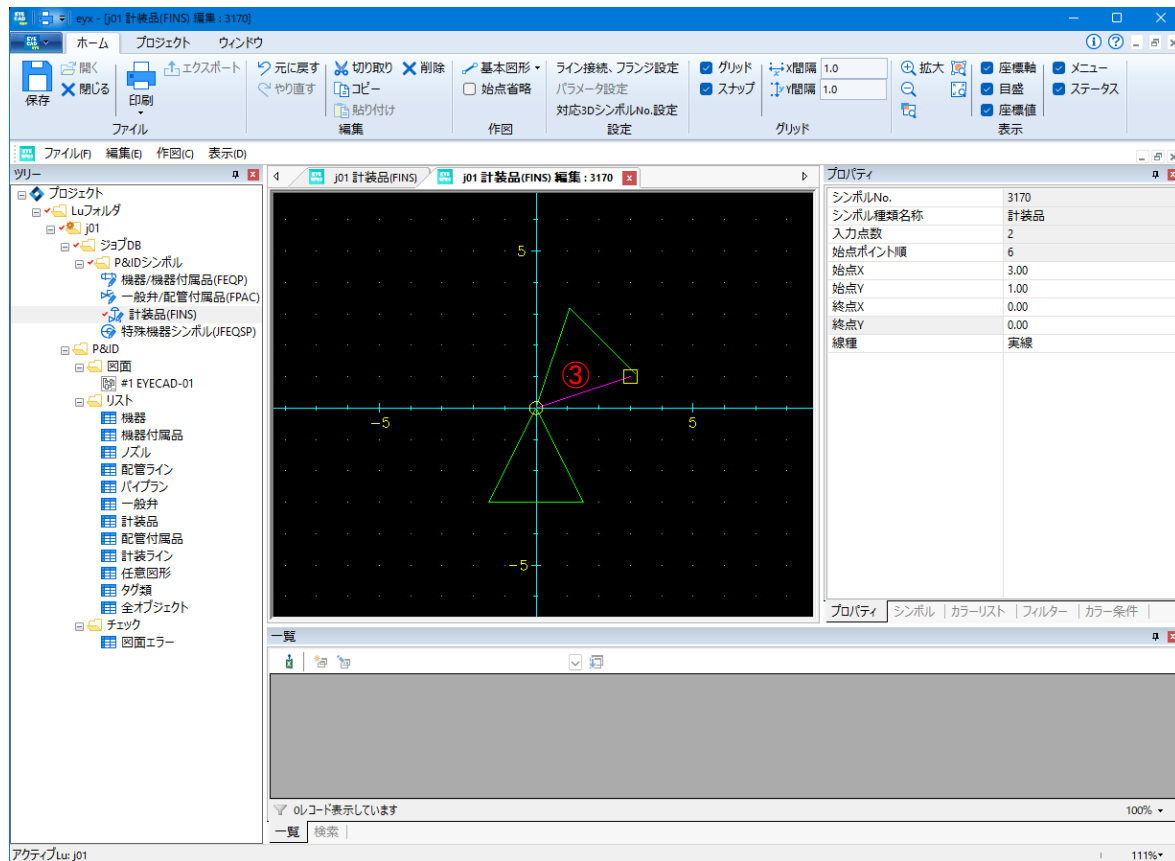
始点 X を 1.06、始点 Y を 3.18、終点 X を 3.18、終点 Y を 1.06 と入力したら、Enter キーを押します。



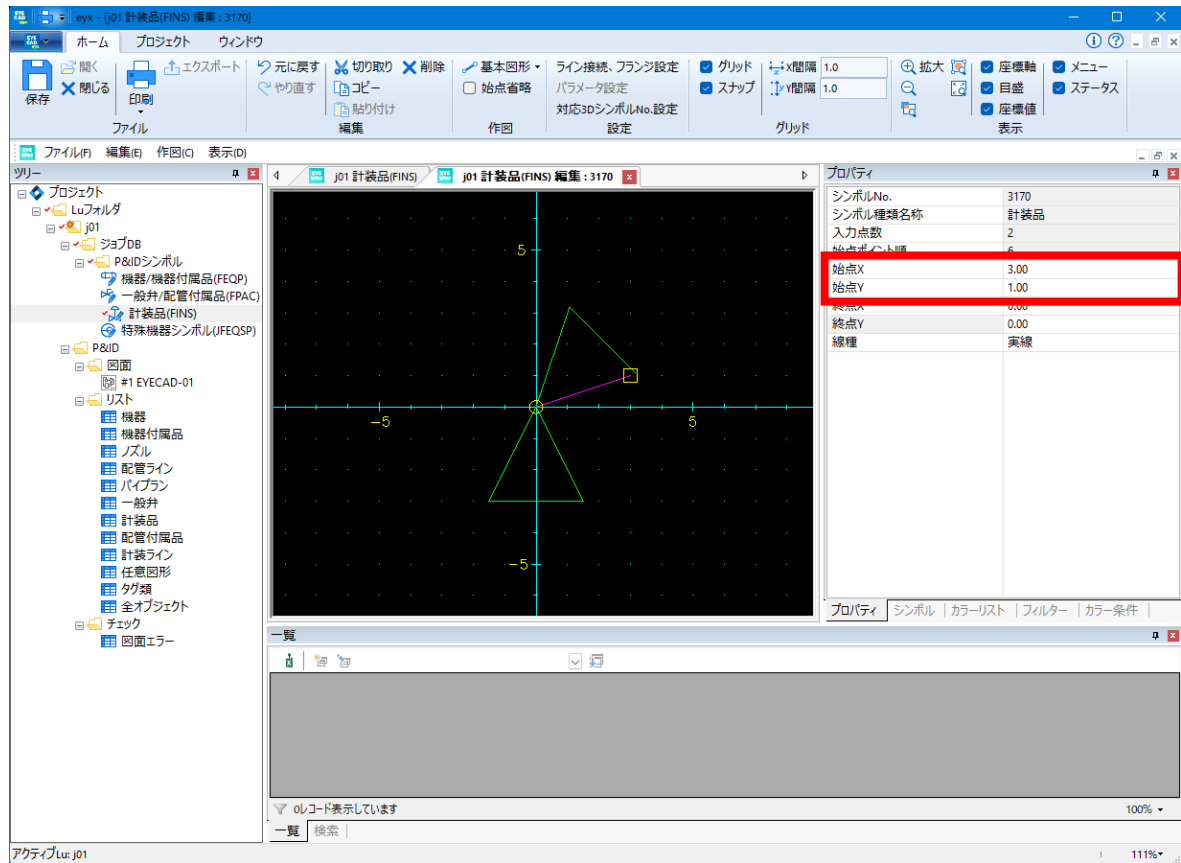
次の画面となります。



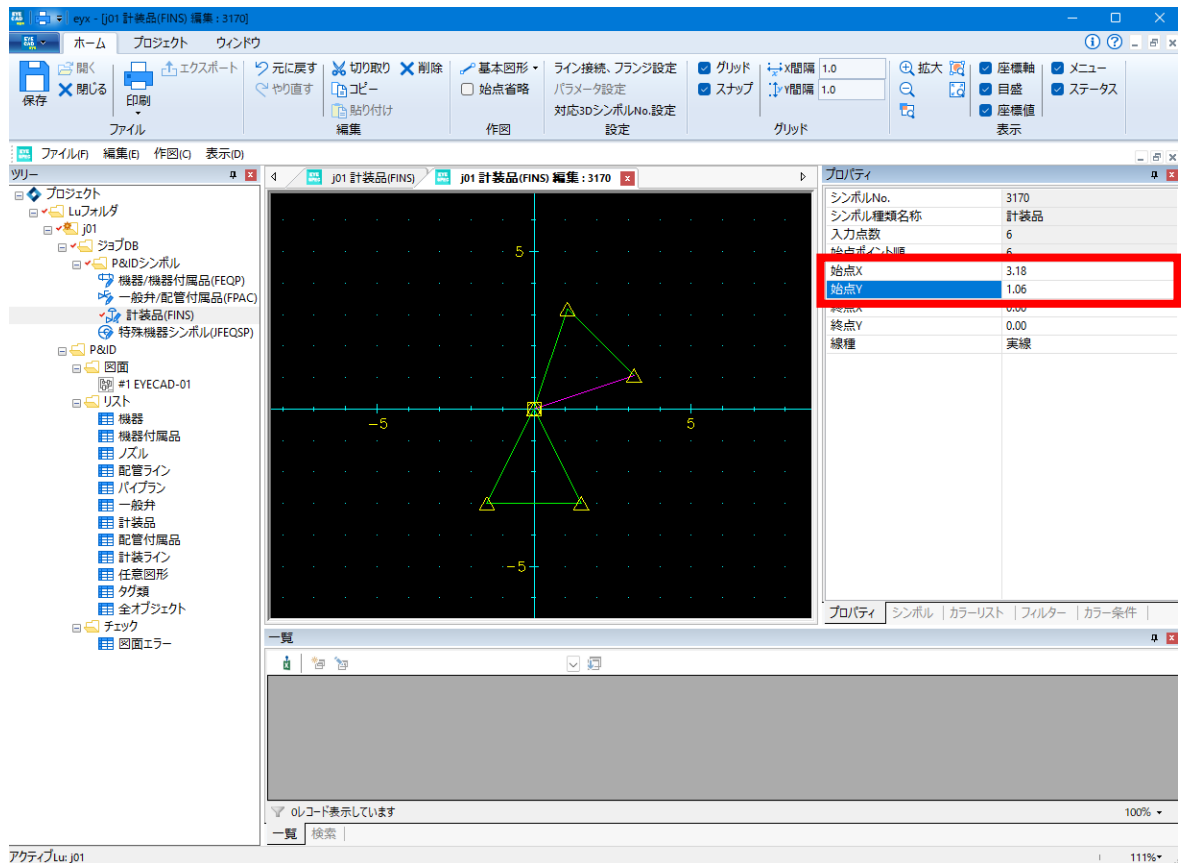
次に線分③を選択します。



始点 X を 1.06、始点 Y を 3.18 と入力したら、Enter キーを押します。

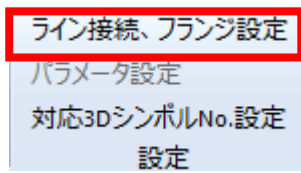


次の画面となります。

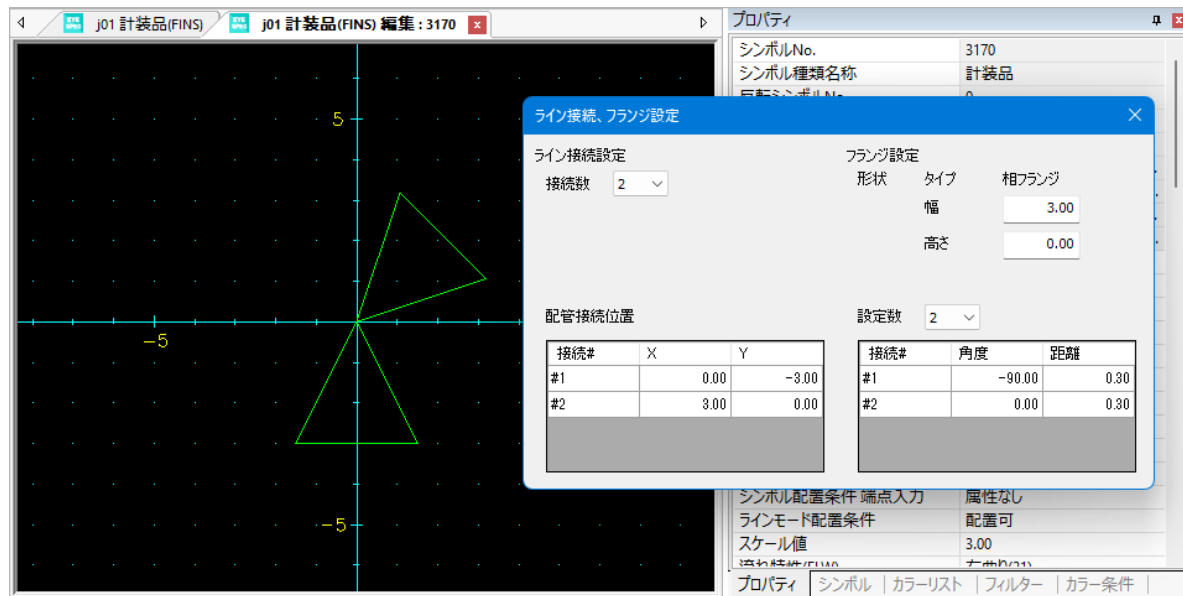


シンボル形状の修正は以上となります。次にライン接続点とフランジ設定を行います。

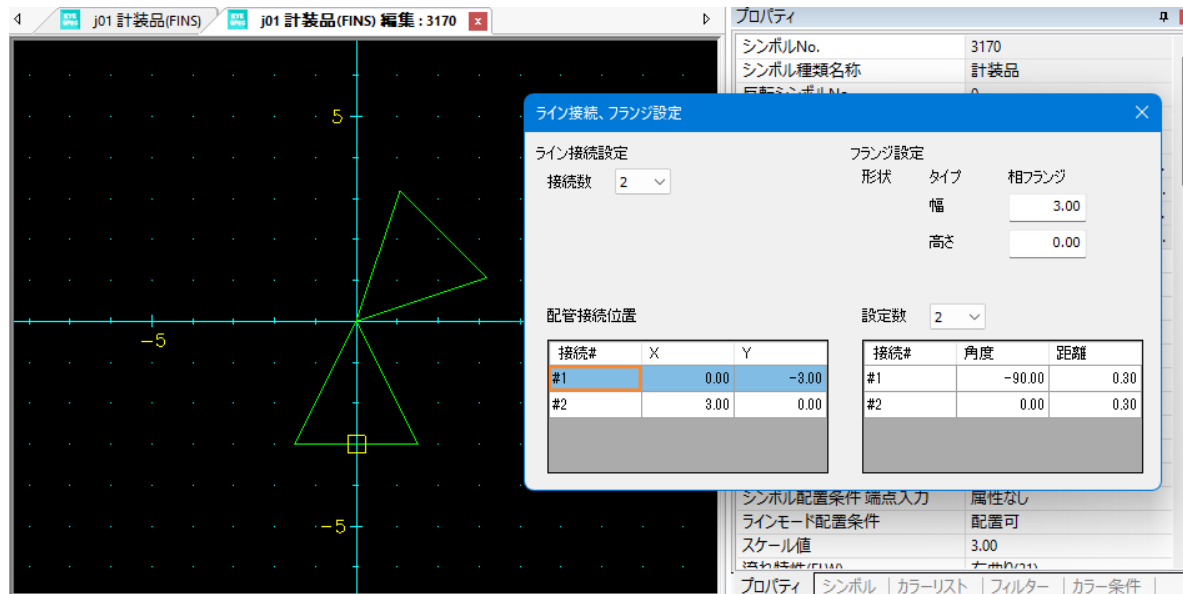
リボンの「ライン接続、フランジ設定」ボタンをクリックします。



次の「ライン接続、フランジ設定」ダイアログが現れます。

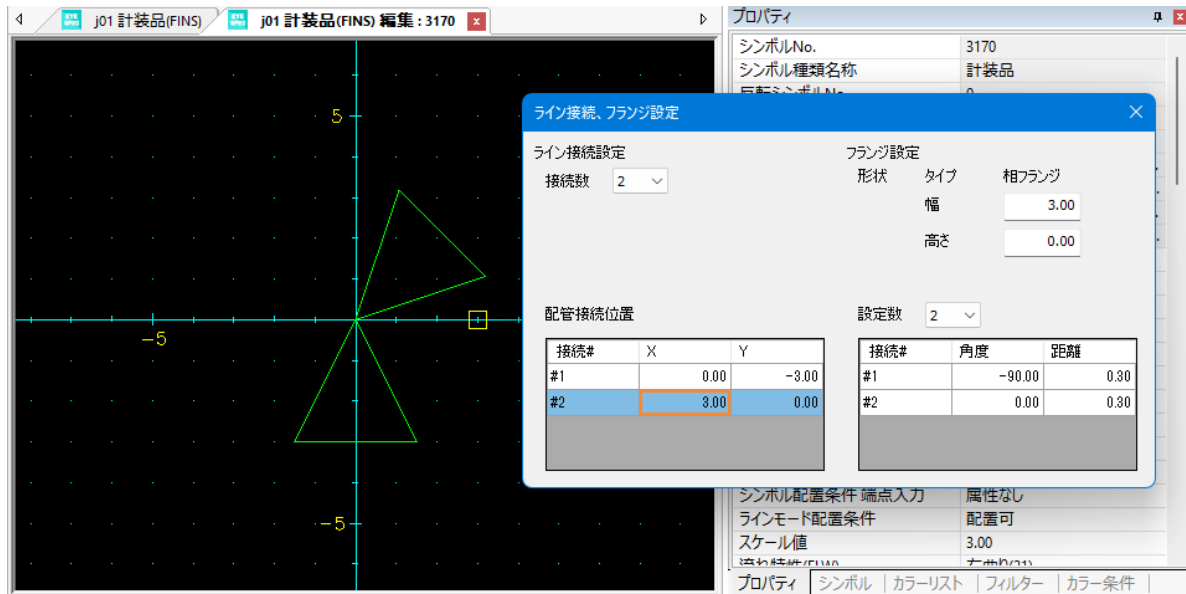


配管接続位置の接続#1 の行をクリックします。

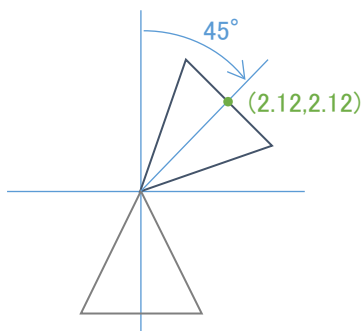


画面に黄色い四角が現れますがこれが 1 次側ライン接続点となります。これはコピー元のアングル形調節弁の 1 次側接続点
がそのまま残って表示されていますが、ここは変更不要です。

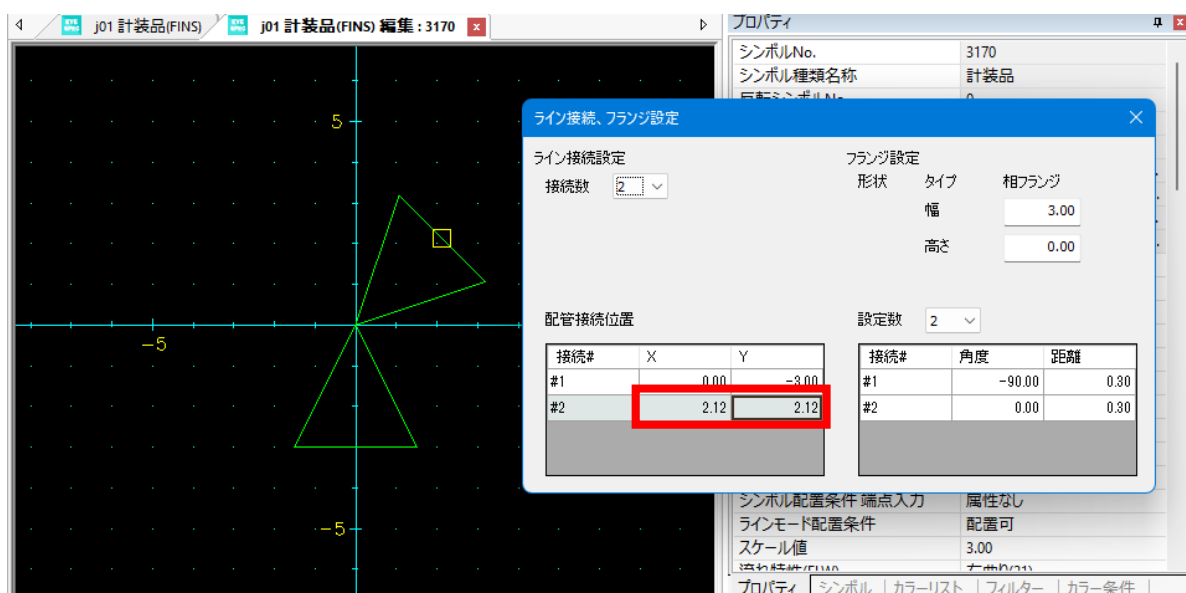
次に配管接続位置の接続#2 をクリックします。



シンボル右側に黄色い四角が現れます。これもコピー元のアングル形調節弁の 2 次側接続点が残って表示されています。2 次側接続点は下図の通りなので修正します。



ダイアログの X と Y に 2.12 を入力し Enter キーを押します。



2 次側接続点の黄色い四角が設定した座標に移動します。

J01 計装品(FINS)
J01 計装品(FINS) 編集: 3170
プロパティ

5

-5

-5

ライン接続、フランジ設定
 ✕

ライン接続設定

接続数 2

フランジ設定

形状	タイプ	相フランジ
幅		3.00
高さ		0.00

配管接続位置

接続#	X	Y
#1	0.00	-3.00
#2	2.12	2.12

設定数 2

接続#	角度	距離
#1	-90.00	0.30
#2	0.00	0.30

シンボル配置条件 端点入力	属性なし
ラインモード配置条件	配置可
スケール値	3.00
表示条件	表示可能

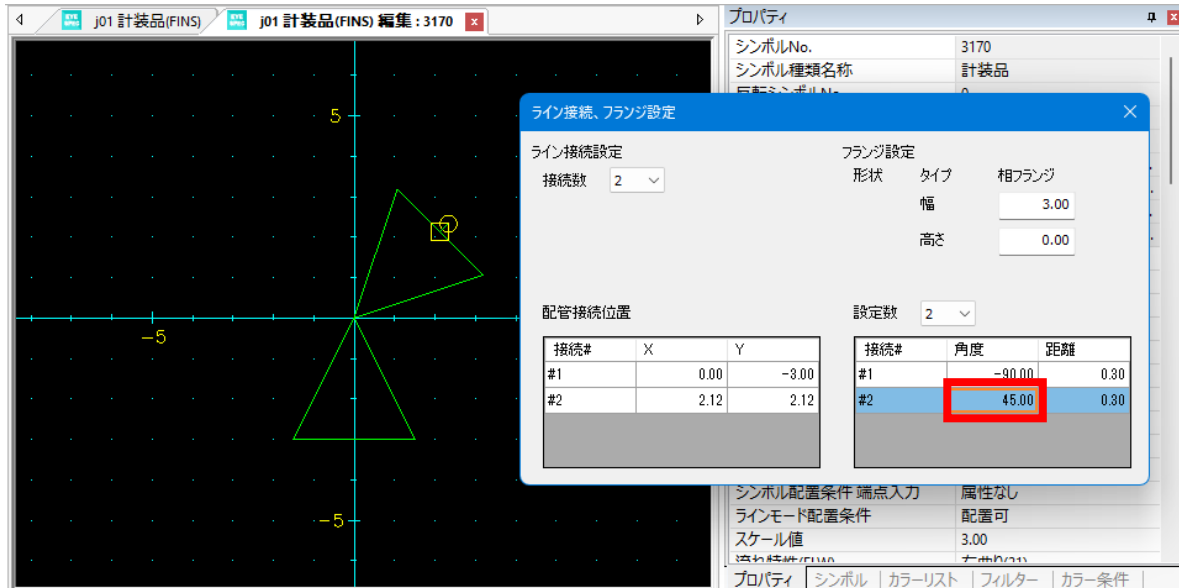
プロパティ
シンボル
カラーリスト
フィルター
カラー条件

Figure 1 shows the 'Line Connection, Flange Setting' dialog box. The background is a 2D coordinate system with a green triangle and a yellow circle labeled '4'. The dialog box contains the following settings:

- Line Connection Setting:** 接続数 (Connection Count) is set to 2.
- Flange Setting:**
 - Flange Shape (形状): 形状
 - Flange Width (幅): 3.00
 - Flange Height (高さ): 0.00
- Piping Connection Position:**
 - 接続#1 (Connection #1): X=0.00, Y=-3.00
 - 接続#2 (Connection #2): X=2.12, Y=2.12
- Setting Count (設定数):** 2
- Bottom Table:**

接続#	角度	距離
#1	-90.00	0.30
#2	0.00	0.30

黄色の丸がフランジ中心位置と四角からの向きですが、角度が合っていないので 45 と入力し Enter キーを押します。



ここまで設定したらダイアログ右上の×マークをクリックしてダイアログを閉じます。

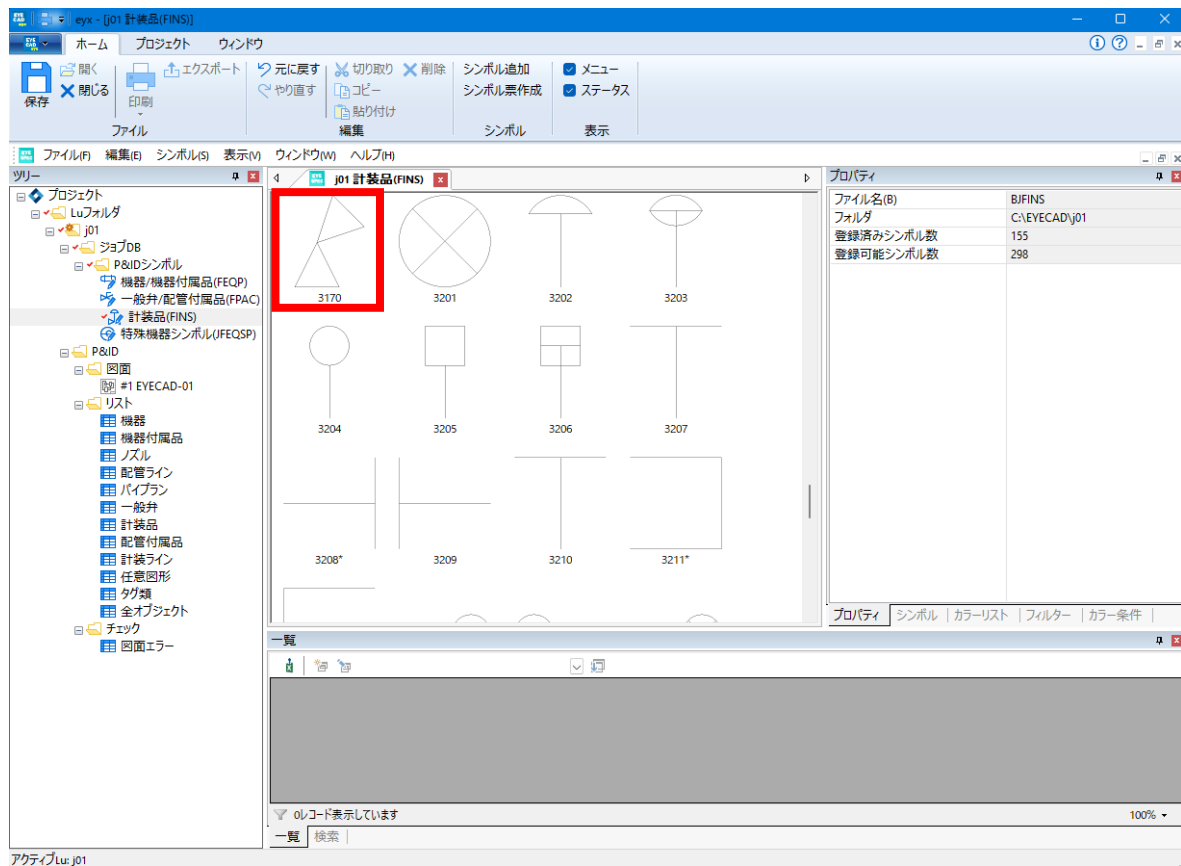
次にリボン左の保存ボタンをクリックします。



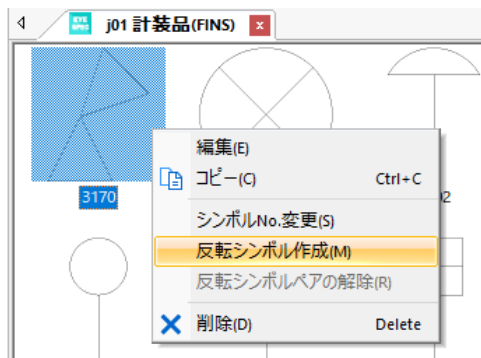
次に閉じるボタンをクリックします。



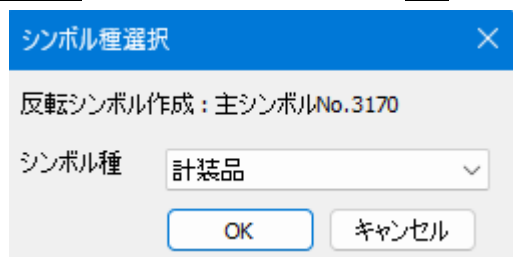
計装品(FINS)一覧画面のアイコンが更新されていることが確認できます



次に反転シンボルを作成します。今作成した 3170 を選択しマウス右クリックメニューの反転シンボル作成を選択します。

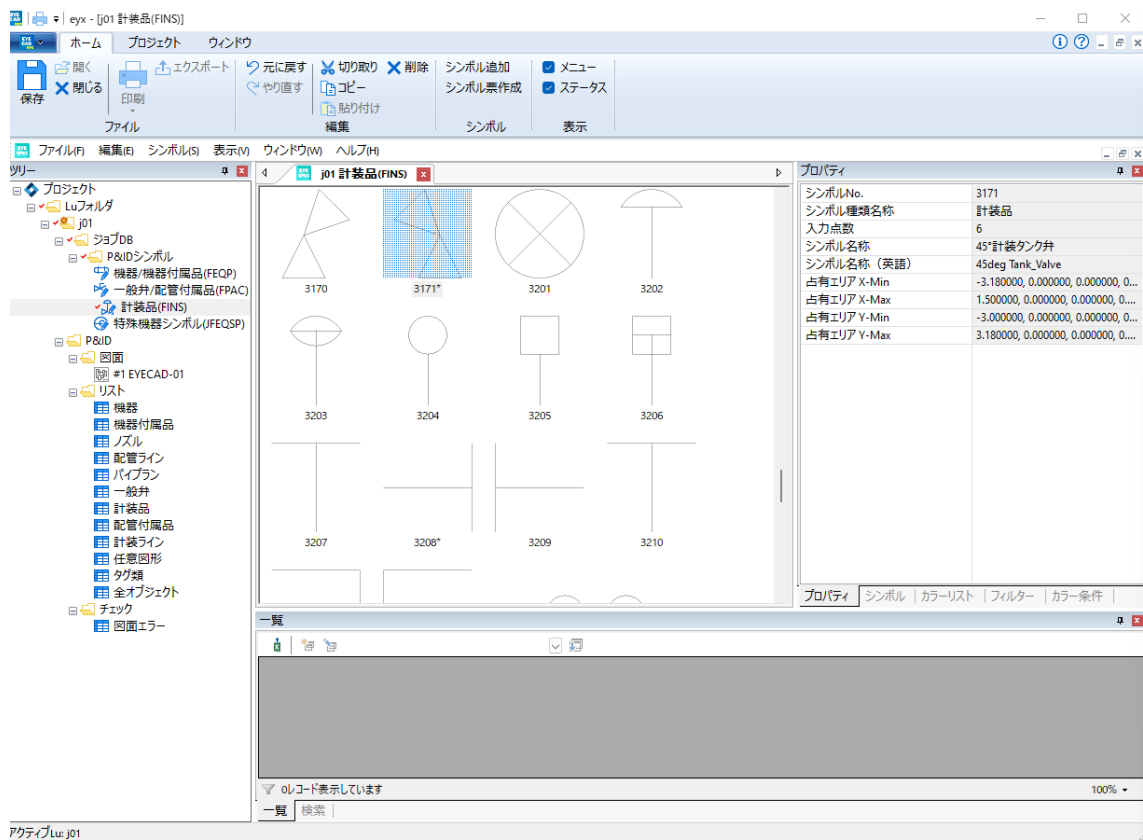


シンボル種選択ダイアログが現れるのでそのまま **OK** をクリックします。

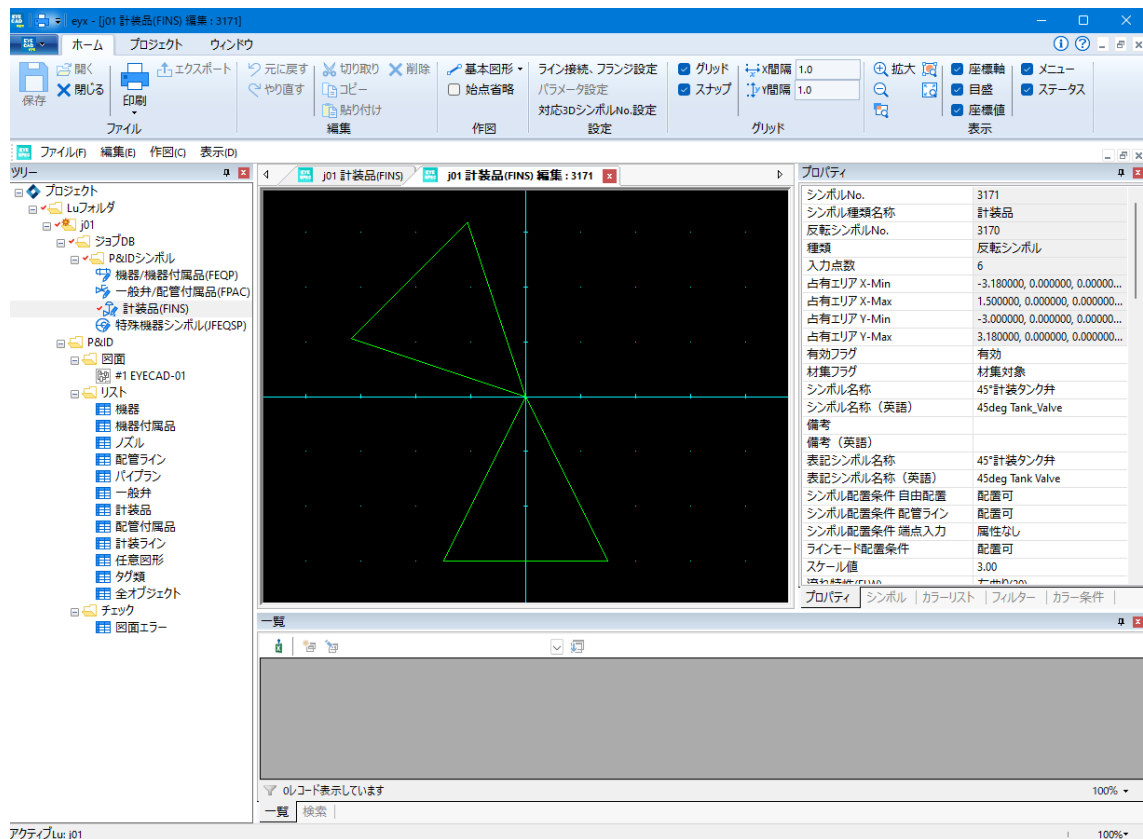


反転シンボル: 3171 が作成されます。シンボル No は計装品シンボルの空き番号が自動で割り当てられます。使用するジョブ DB により割り当てられるシンボル No. は異なり場合があります。

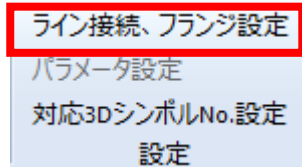
反転シンボルが作成されますが一部の属性は手動で直す必要があるので、このシンボル No. 3170 をダブルクリックしてシンボル編集画面にします。



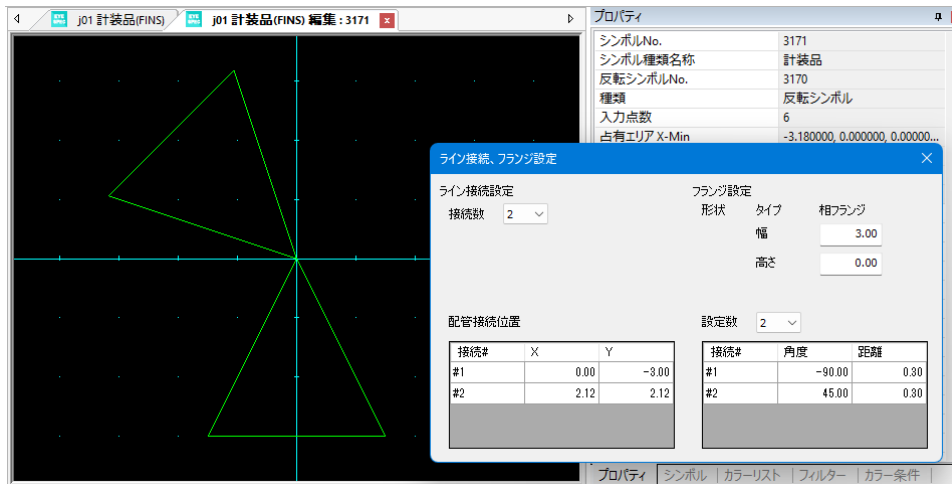
次の画面になります。



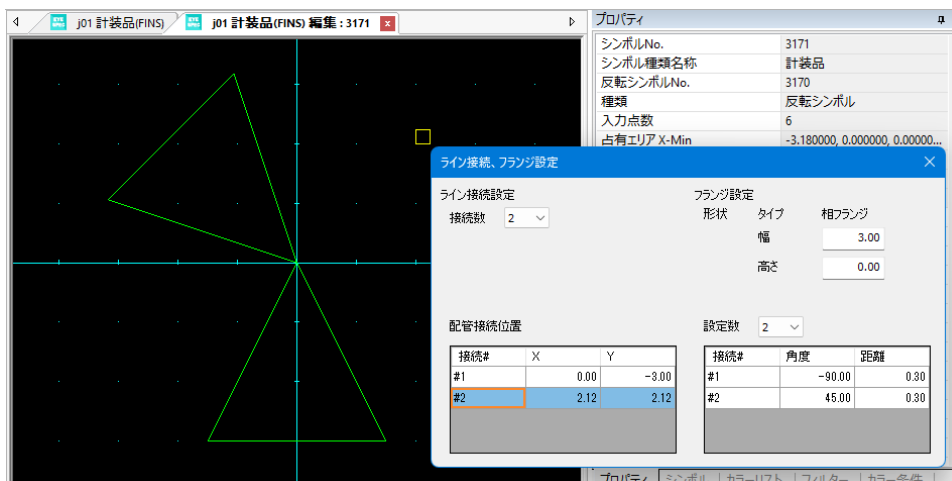
リボンの**ライン接続、フランジ設定**ボタンをクリックします。



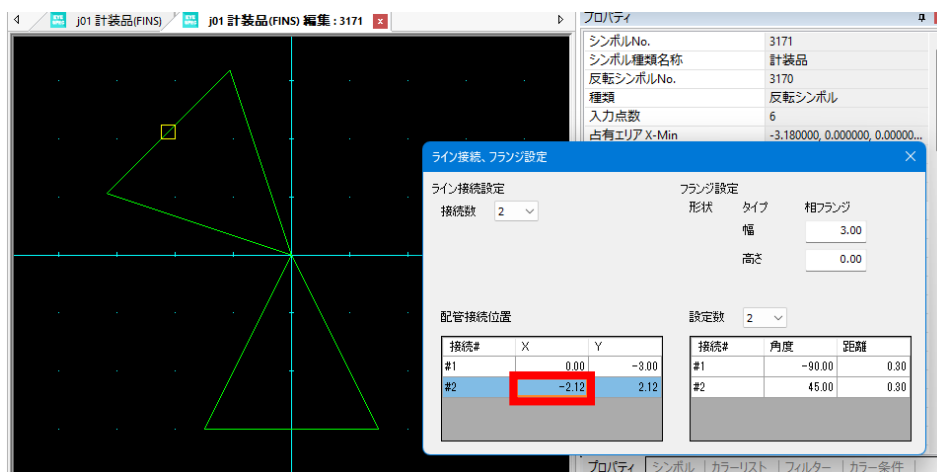
次の**ライン接続、フランジ設定**ダイアログが現れます。



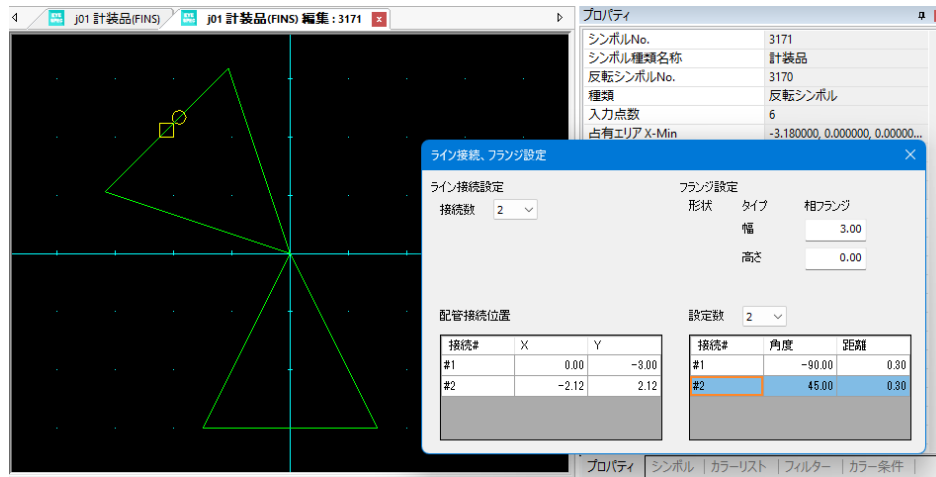
配管接続位置#2 をクリックします。



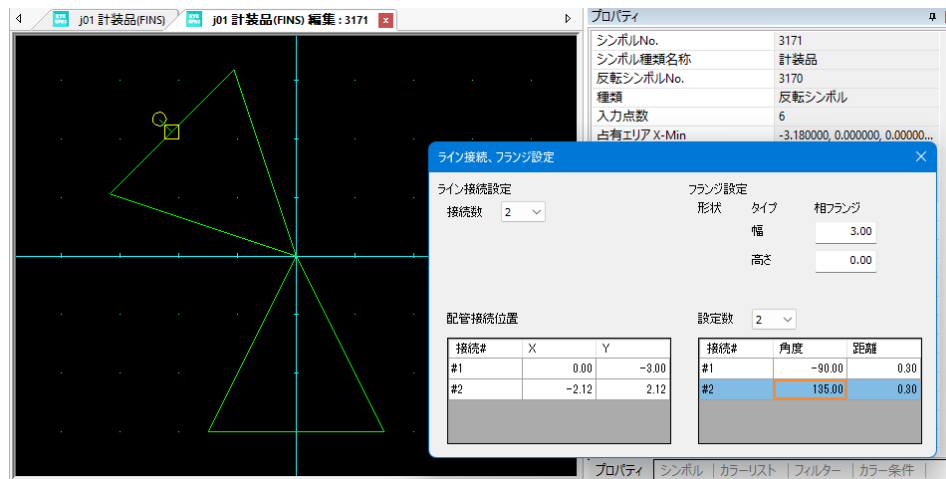
黄色四角の 2 次側ライン接続点が異なるので X 座標を-2.12 に修正し、Enter キーを押します。



次にフランジ設定の接続#2 を選択します。

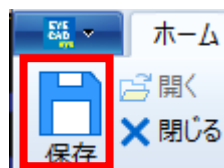


黄色の丸がフランジ中心位置と四角からの向きですが、角度が合っていないので 135 と入力し Enter キーを押します。

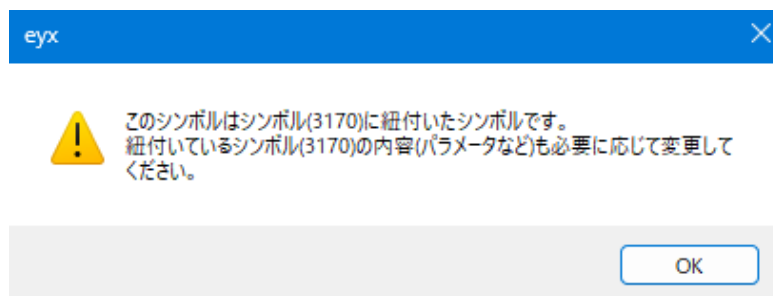


ダイアログ右上の×マークをクリックしてダイアログを閉じます。

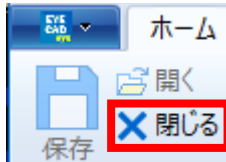
次にリボン左の保存ボタンをクリックします。



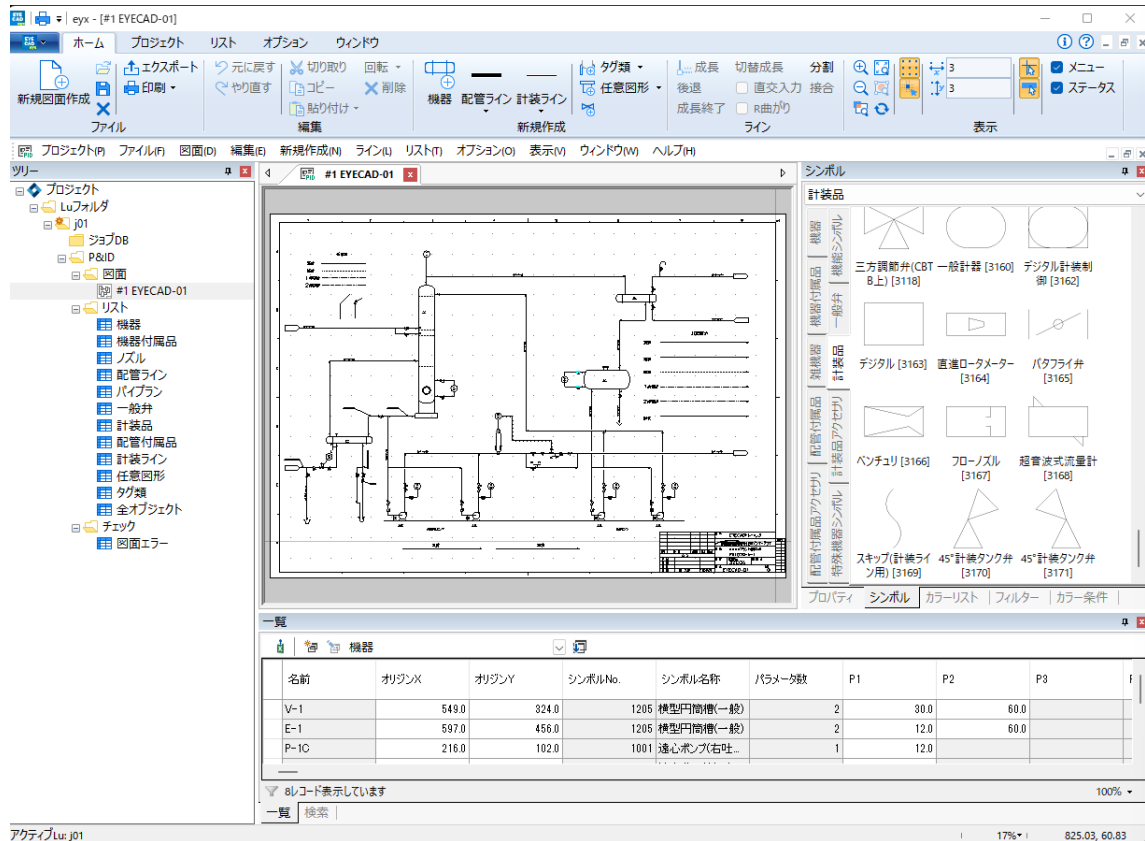
以下の警告ダイアログが現れますが OK をクリックします。



次に閉じるボタンをクリックします。



プログラムを保存終了し、図面を起動するとシンボルウィンドウの計装品に 45° 計装タンク弁[3170]と[3171]が追加されていることが確認できます。



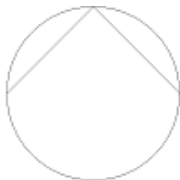
名前	オリジンX	オリジンY	シンボルNo.	シンボル名称	パラメータ数	P1	P2	P3	I
V-1	549.0	324.0	1205	横型円筒槽(一般)	2	30.0	60.0		
E-1	597.0	456.0	1205	横型円筒槽(一般)	2	12.0	60.0		
P-1C	216.0	102.0	1001	遠心ポンプ(右吐...	1	12.0			

11-3. ポンプの作成(新規シンボルの作成)

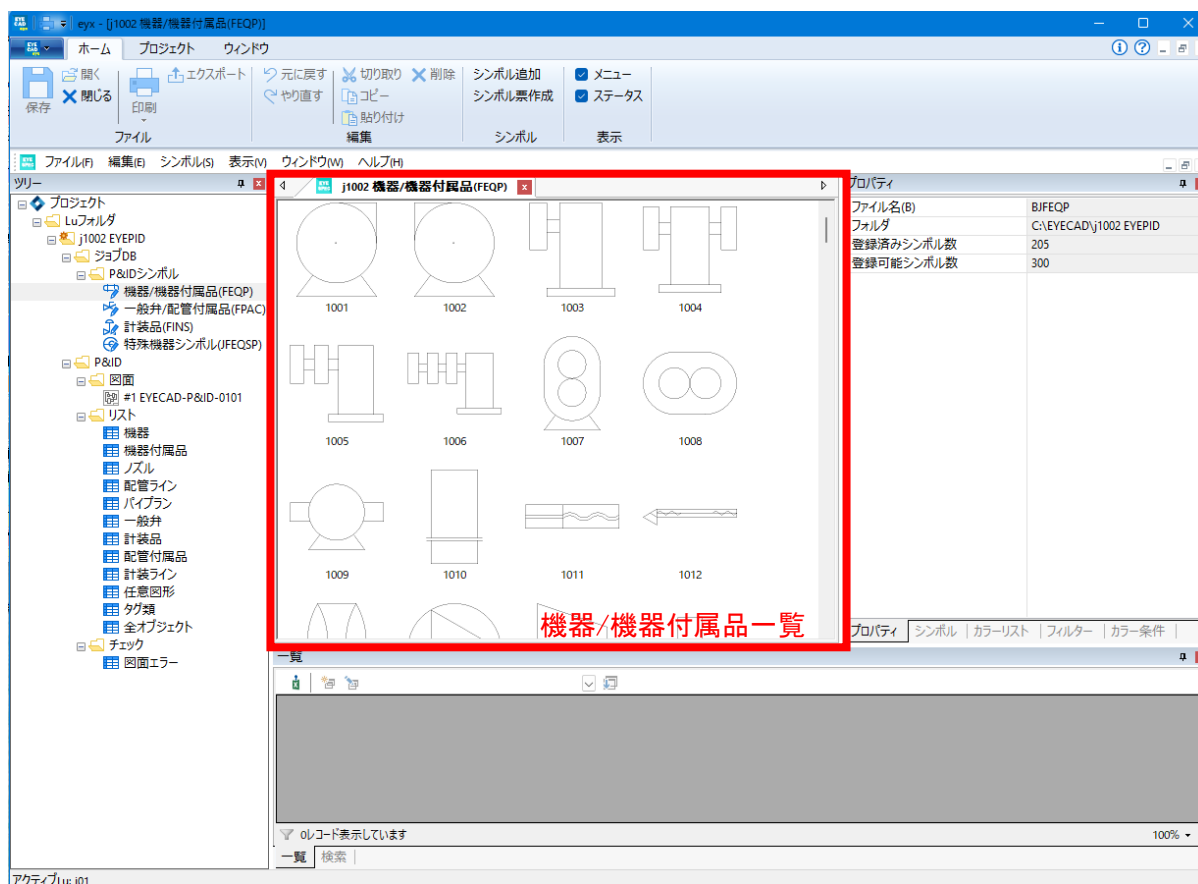
作業 Lu に **j01 シンボル編集用Lu** を使用します。先のチュートリアルで使用した Lu をそのまま使うこともできますが、Lu がなければチュートリアル の zip 内に収録されている Lu を解凍しセットアップドライブ:¥EYECAD フォルダ以下にコピーしてください。EYECADフォルダ以下にフォルダ名が j01 で始まるものがある場合は名前を変更するか別のフォルダに移動してください。

作業概要

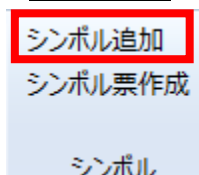
以下 JIS Z8617-9(ISO14617-9 準拠)の液体ポンプを新規に作成します。



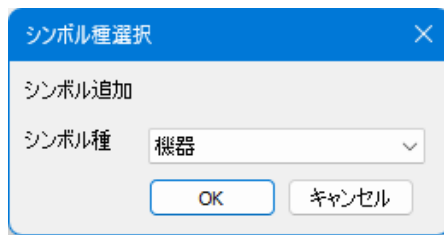
ツリーの **P&IDシンボル** を開き **機器/機器付属品(FEQP)** をダブルクリックすると機器/機器付属品一覧画面が現れます。



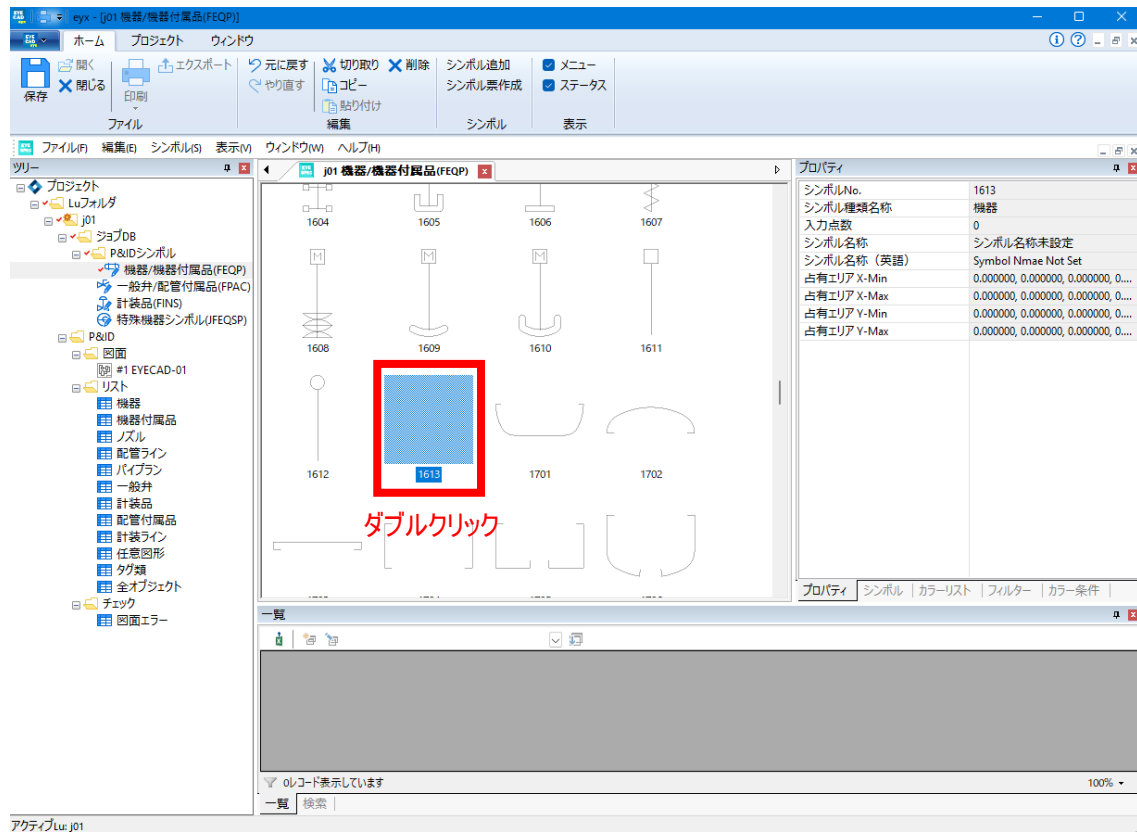
リボンの **シンボル追加** ボタンをクリックします。



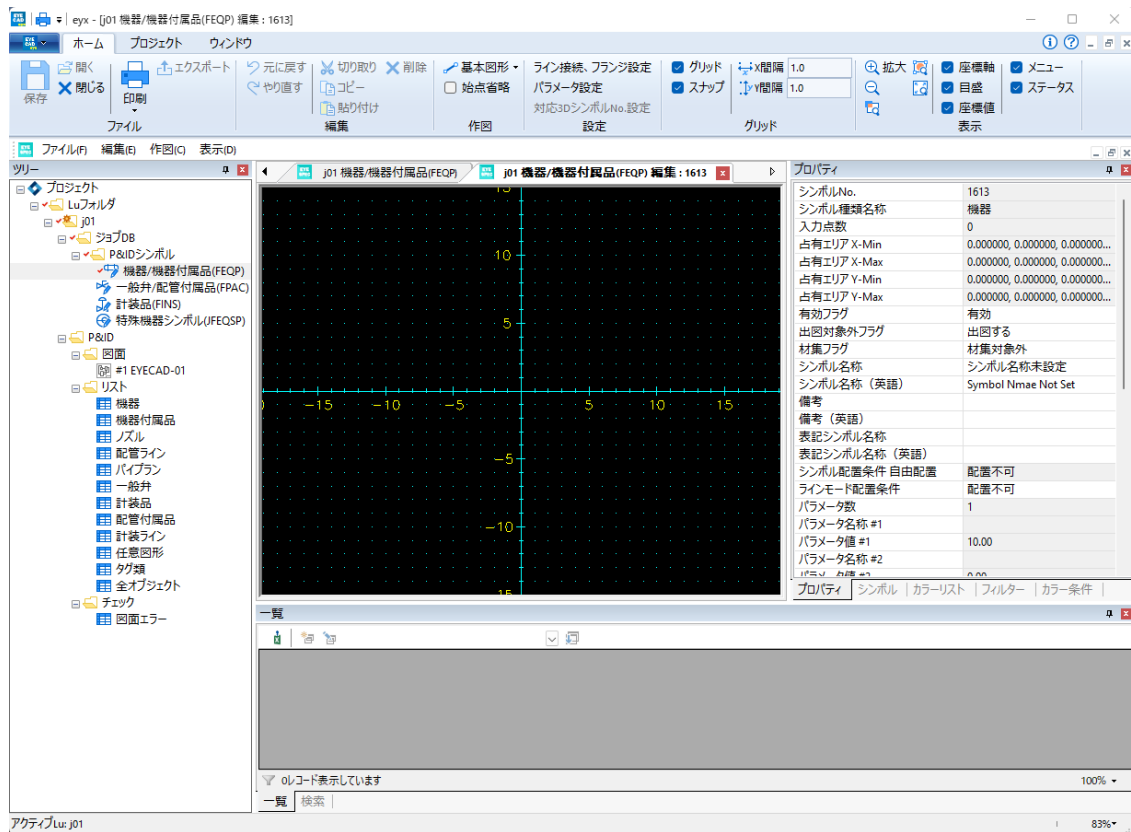
以下 **シンボル種選択** ダイアログが現れるので **OK** をクリックします。



下図の通り新規に機器シンボル:1613 が追加されます。シンボル No は機器シンボルの空き番号が自動で割り当てられます。使用するジョブ DB により割り当てられるシンボル No. は異なり場合があります。このシンボル No. 1613 をダブルクリックしてシンボル編集画面にします。



シンボル編集画面となります。

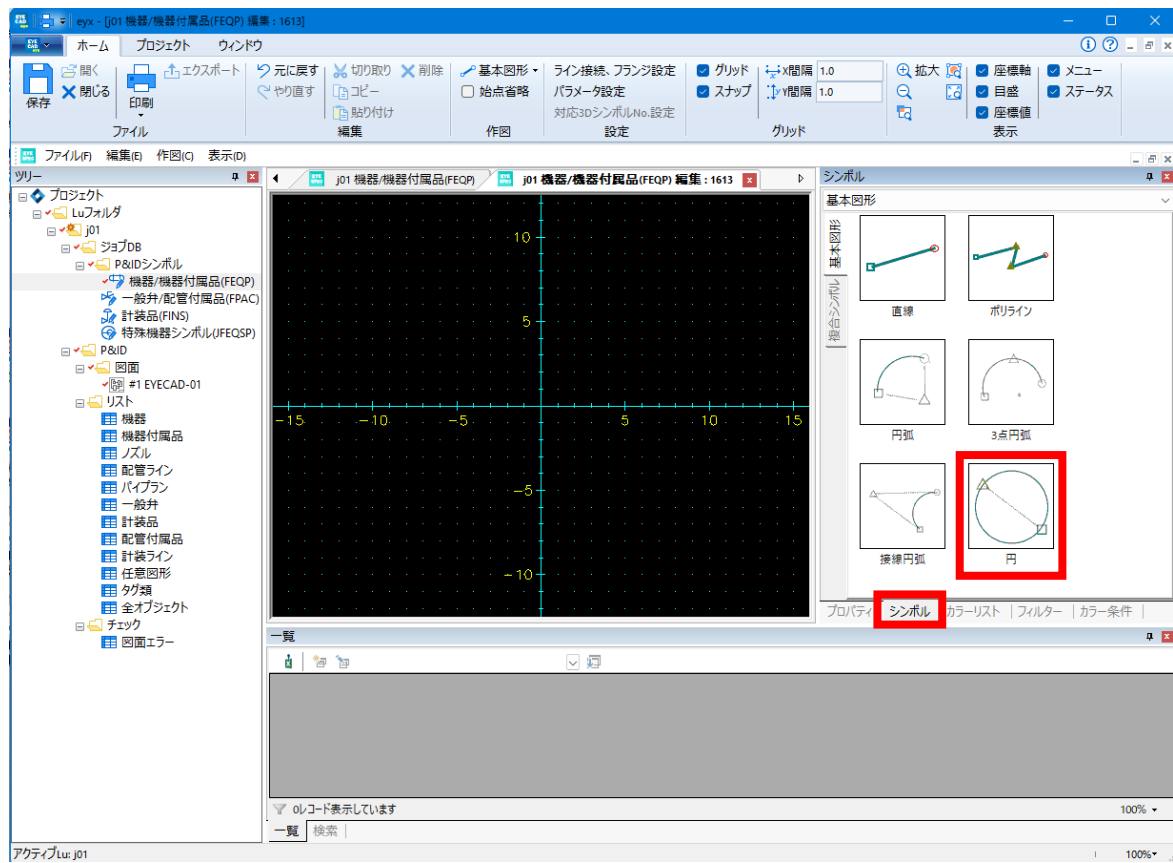


以下プロパティを変更します。

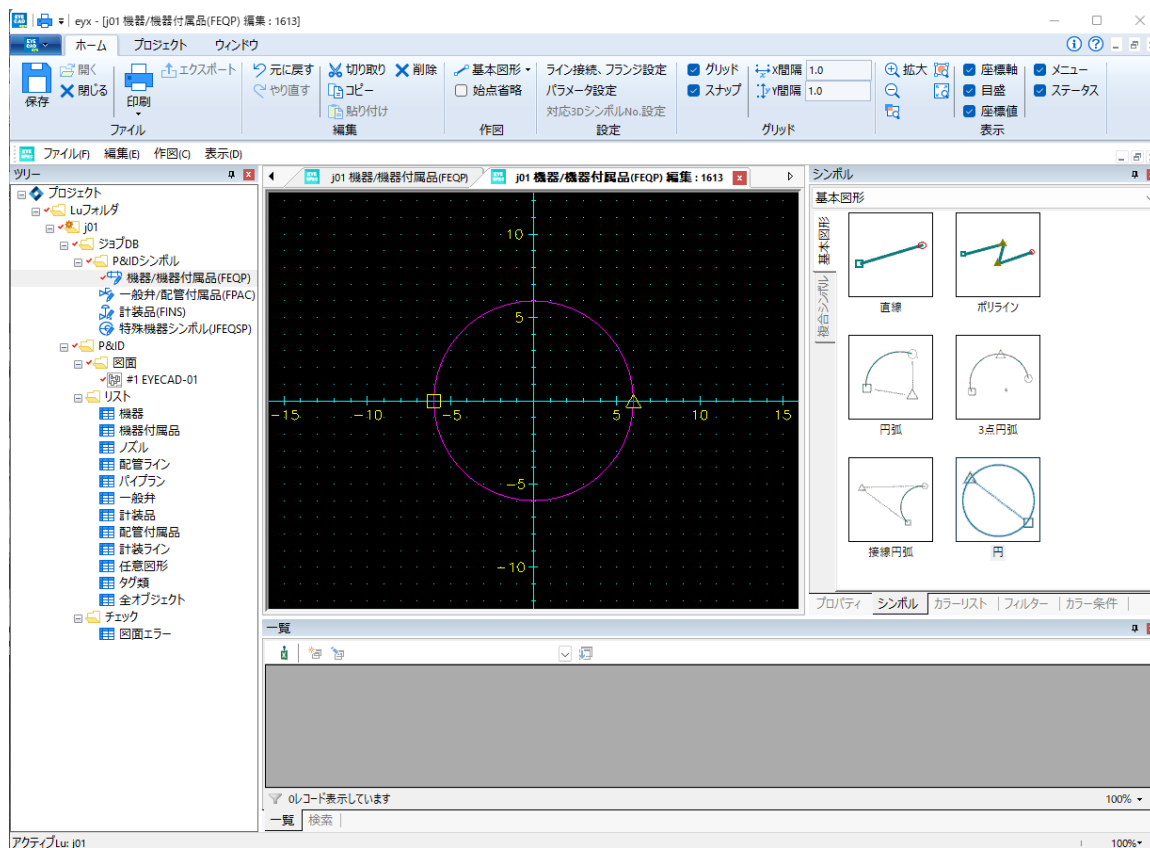
No.	プロパティ名	設定値	説明
3	シンボル名称	液体用ポンプ	
4	シンボル名称(英語)	General Pump	
3	表記シンボル名称	液体用ポンプ	シンボルー覧や一覧リストに現れる名前
4	表記シンボル名称(英語)	General Pump	
5	ノズルフランジ自動発生	なし	レイヤ#14 が 1 のときフランジを自動発生します
6	機器仕様分類コード	IT45	3D のニーモニックと合わせる
7	3D 参照入力対応機能コード	01110	ポンプの機器仕様分類コード

材質フラグやシンボル配置条件 自由配置は設定不要です。V10 では全ての部品が材質対象で全ての機器シンボルは自由配置が可能です。

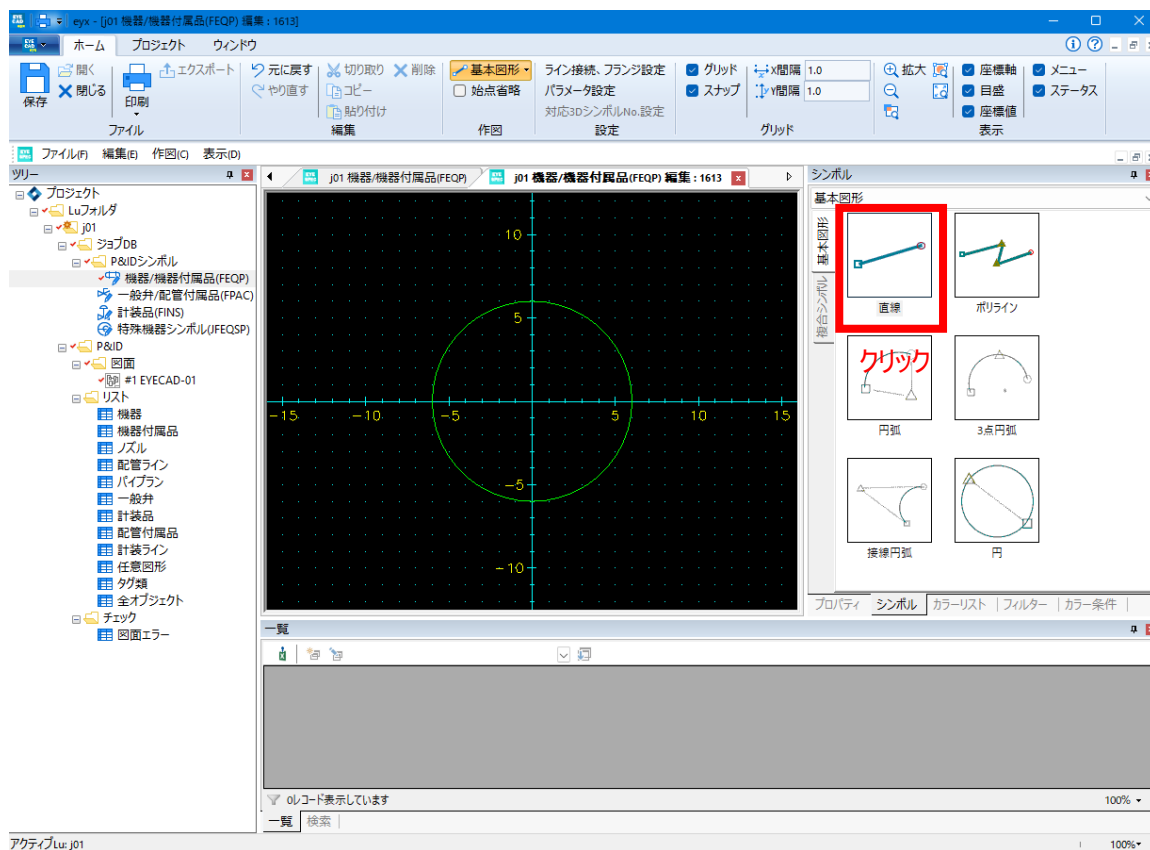
次にシンボル形状を作成します。シンボルウィンドウのシンボルタブをクリックしてシンボルー覧を表示し、アイコンをクリックします。



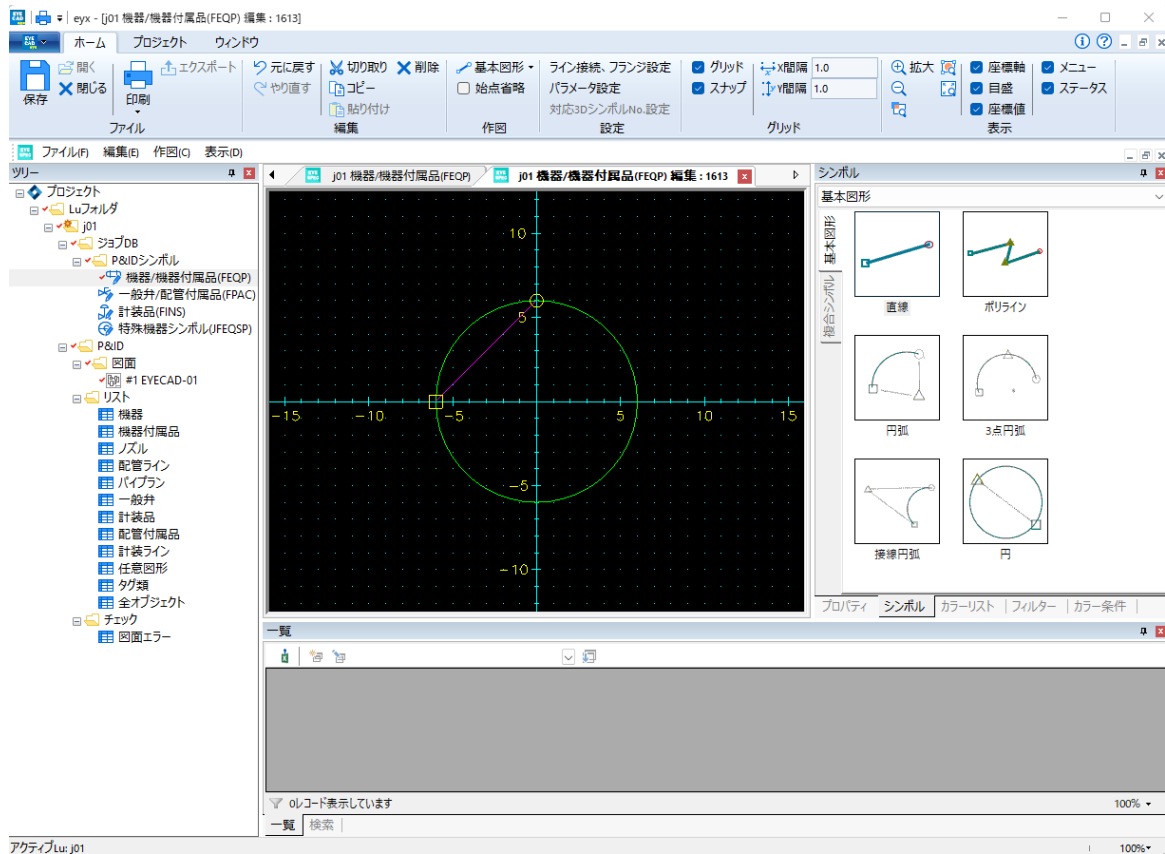
座標値(-6,0)をクリックすると黄色い四角が現れ、そのままマウスを移動すると円が移動に合わせて表示されます。(6,0)まで移動しクリックすると下図のようになります。



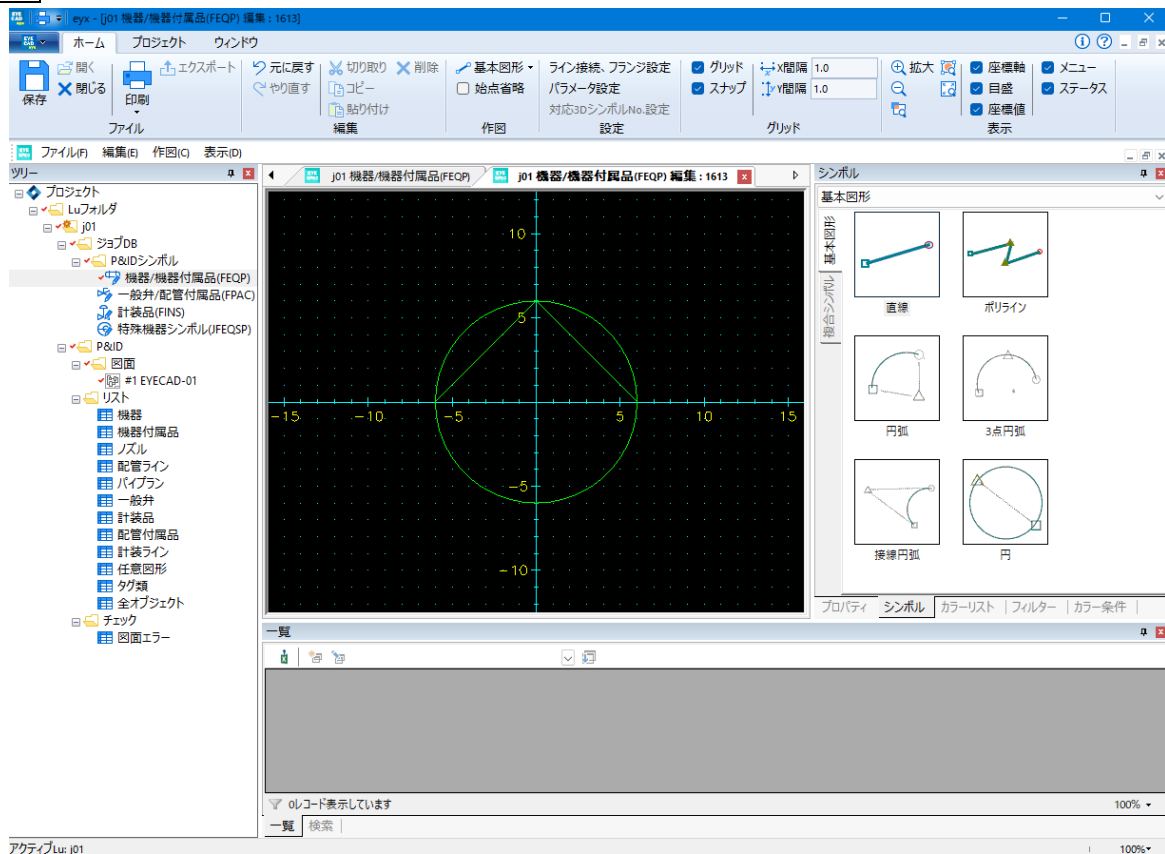
次に直線アイコンをクリックします。



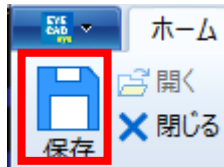
座標(-6,0)をクリックすると黄色い四角が現れ、そのままマウス移動すると直線が表示されます。(0,6)まで移動しクリックすると下図のようになります。



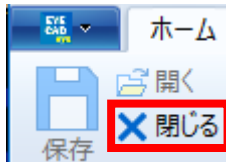
再度、**直線**アイコンをクリックして(6,0)から(0.6)まで直線を引きます。



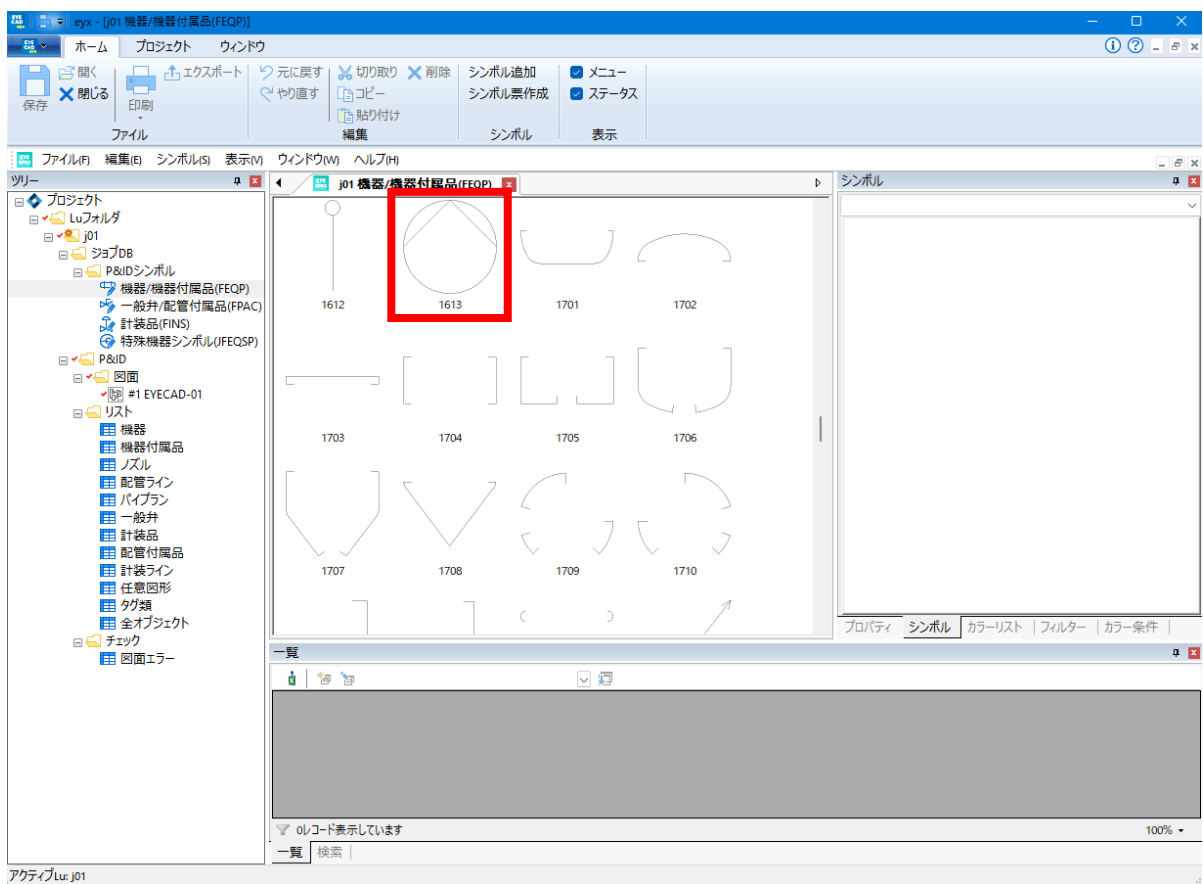
ここまでできたら、リボン左の**保存**ボタンをクリックします。



次に**閉じる**ボタンをクリックします。



シンボルが追加されました。



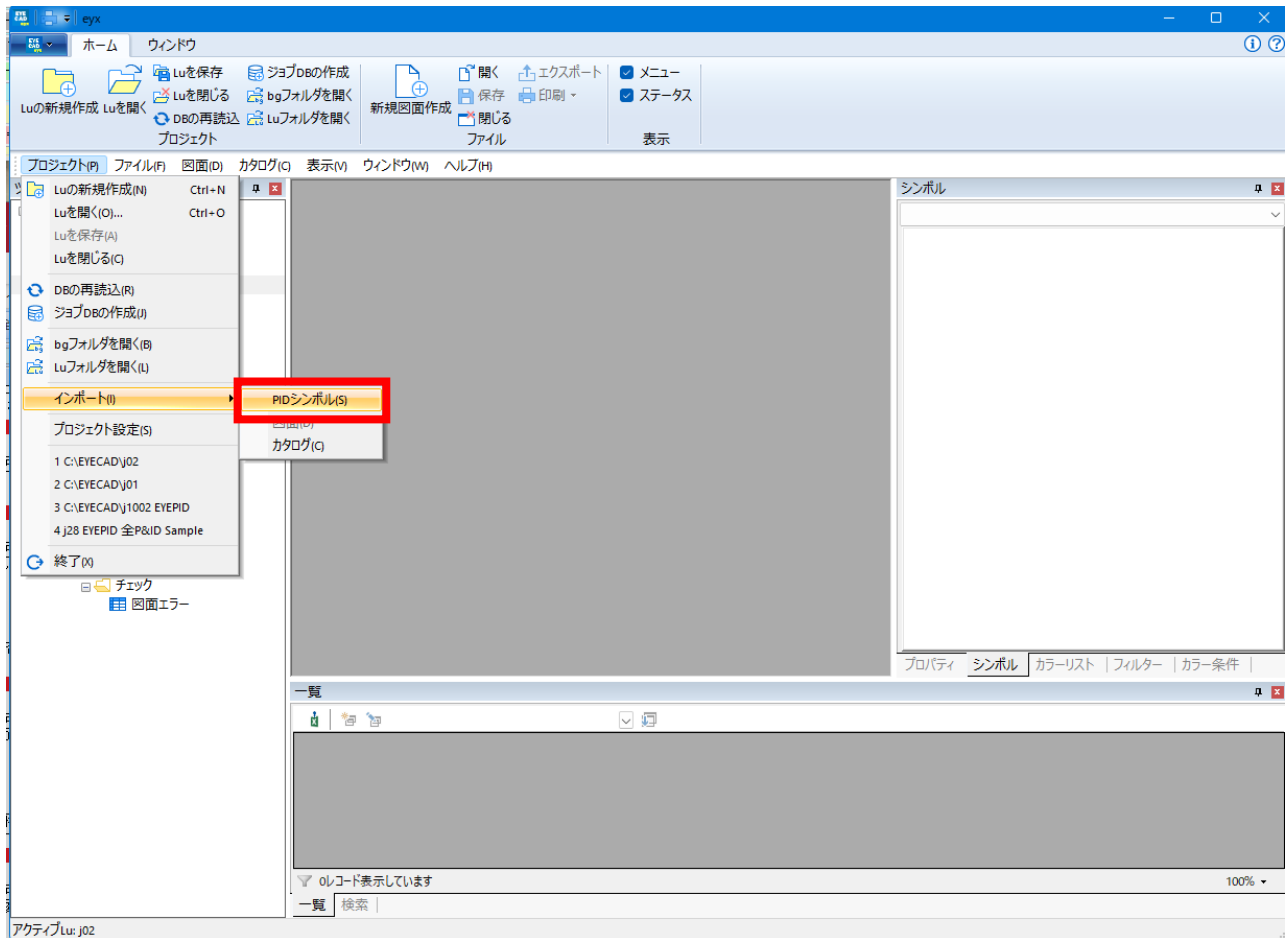
11-4. 他 Lu のシンボルのインポート

他の Lu のシンボルをインポートします。

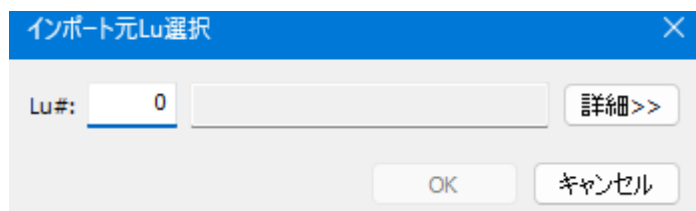
インポートはシンボルファイル単位でインポート可能です。

現在自分の Lu にあるシンボルは上書きとなるので注意してください。

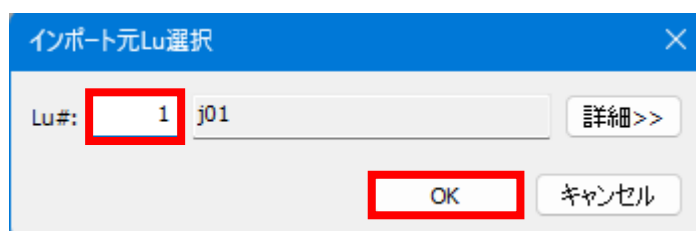
Lu を開きプロジェクトメニューのインポート、PID シンボルを選択します。Lu を読み込まないとこのメニューは選択できません。



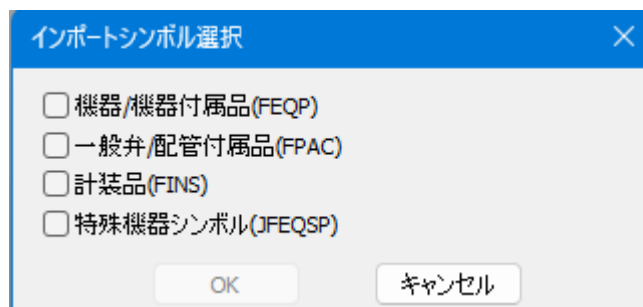
インポート元 Lu 選択ダイアログが現れます。インポートしたいシンボルの入った Lu を選択します。



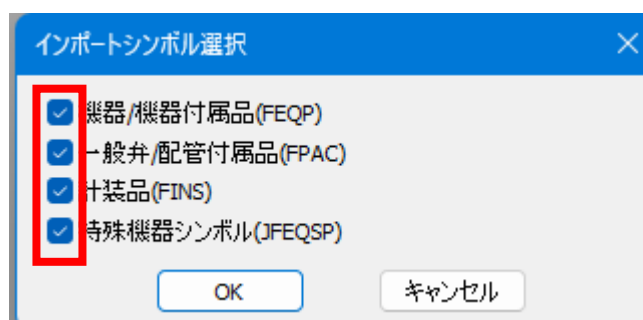
ここでは先ほどシンボルを作成した Lu#:1 を指定します。Lu# の右側のテキストボックスに 1 と入力して OK をクリックします。



インポートシンボル選択ダイアログが現れます。

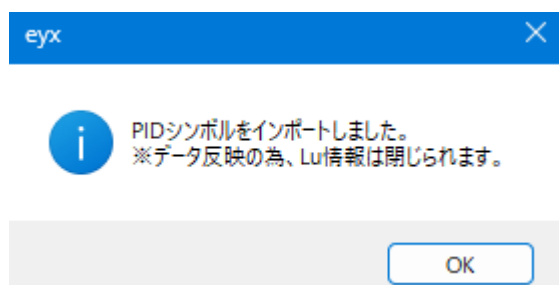


ここでは全シンボルをインポートするため全てのチェックボタンをチェックします。チェックボックスを1つずつマウスでクリックします。



OK ボタンをクリックすると以下のメッセージが現れます。そのまま OK をクリックします。

以下のダイアログが現れるので OK をクリックします。



これで作業している Lu に j01 の PID シンボルが全てインポートされました。作業している Lu で j01 で追加したシンボルが使用可能です。

このチュートリアルは以上となります